



TOSTEM リプラス マンション用 装飾窓 アングルカバー・見切材・連窓方立カバー 組立て・取付け説明書

●組立て・取付けされる方に必ずお渡しください。掲載番号順に施工してください。

■守っていただきたいこと

▲注意 …組立て・取付けを誤った場合、使用者などが中程度の傷害・軽傷を負う危険または物的損害の発生が想定されます。

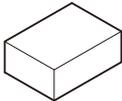
▲注意



●アングルカバーの取付けはねじの締めすぎに注意してください。
電動ドライバー使用時は、0.5N・m {5kgf・cm}程度とし、最後は必ず手で締めてください。締めつけ過ぎるとねじが効かなくなり脱落するおそれがあります。

■部品一覧

アングルカバー

アングルカバー組立てねじ  トラスタッピン1種φ4×12	アングルカバー端部キャップ 
アングルカバー取付け補助ブロック 	アングルカバーシール目地保持ブロック(浴室窓単独交換用) 
アングルカバー取付けねじ(浴室用)  皿タッピン1種φ4×20 ※枠に同梱されています。	アングルカバー取付けねじ(居室用)  皿木ねじφ3.1×20 ※枠に同梱されています。

見切材

見切材コーナーピース 	見切材取付けねじ  特平ねじφ3.1×20
---	--

連窓方立カバー

連窓用アングルカバー取付けねじ  皿タッピン1種ねじφ4×12	装飾枠取付けねじ  特平ドリルねじφ4×25
連窓方立カバー受け材取付けねじ  なべドリルねじφ4×13	連窓方立カバー端部すき間埋め材 

※下記内容は重要事項ですので必ず点検してください。

No.	チェック内容	
1	ねじのゆるみ、ねじバカはないか	<input type="checkbox"/>

●2次元コードにアクセスいただくと、施工説明動画をご覧いただけます。動画は参考例になります。必ず説明書の手順を実施してください。

装飾窓
施工説明動画



連窓方立カバー
施工説明動画

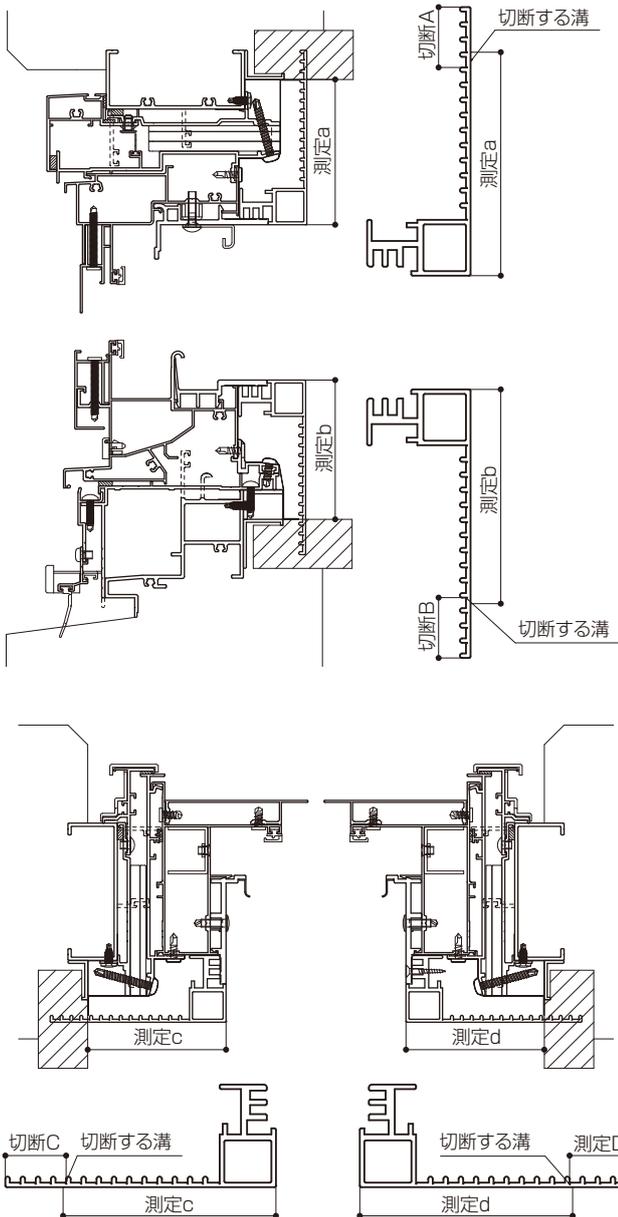


●連窓方立カバーを使用する場合は、FIX側のアングルカバー組立て・取付け説明書をご覧ください。

1 アングルカバーの切断寸法の確認

新設サッシ枠アングルから既設窓枠までのa～dを測定し、切断する溝を決めてください。

上枠	下枠	左縦枠	右縦枠
a	b	c	d



※連窓用FIXアングルカバーの場合は、連窓側のアングルカバーの溝の切断はありません。



2 アングルカバーの加工

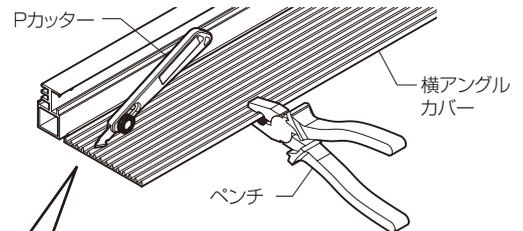
お願い

- 切断面は鋭利な部分が残らないようにヤスリなどで仕上げてください。
- アングルカバー表面が白化することがありますので、十分に切目を入れ、切断する溝付近を持って、丁寧に折取ってください。

アングルカバーを決定した溝で切断してください。

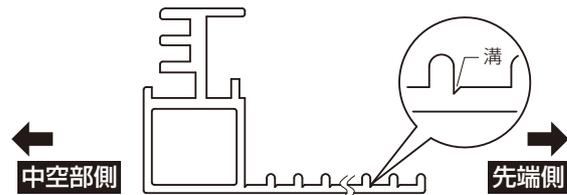
ポイント

下記【溝の位置】を参考に納まりにあう溝にPカッターで切目を入れ、ペンチなどで折取ってください。



【溝の位置】

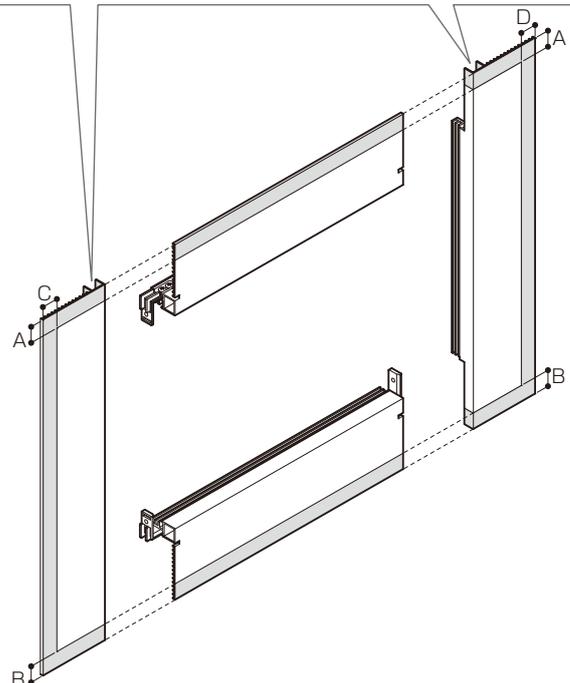
溝はリブの根元の中空部側にあります。



縦アングルカバーのL寸を切詰めしてください。

お願い

- 縦アングルカバーのL寸切詰めは、上下アングルカバーの切断に合わせて切断してください。切断した部材を当ててけがくと早くできます。

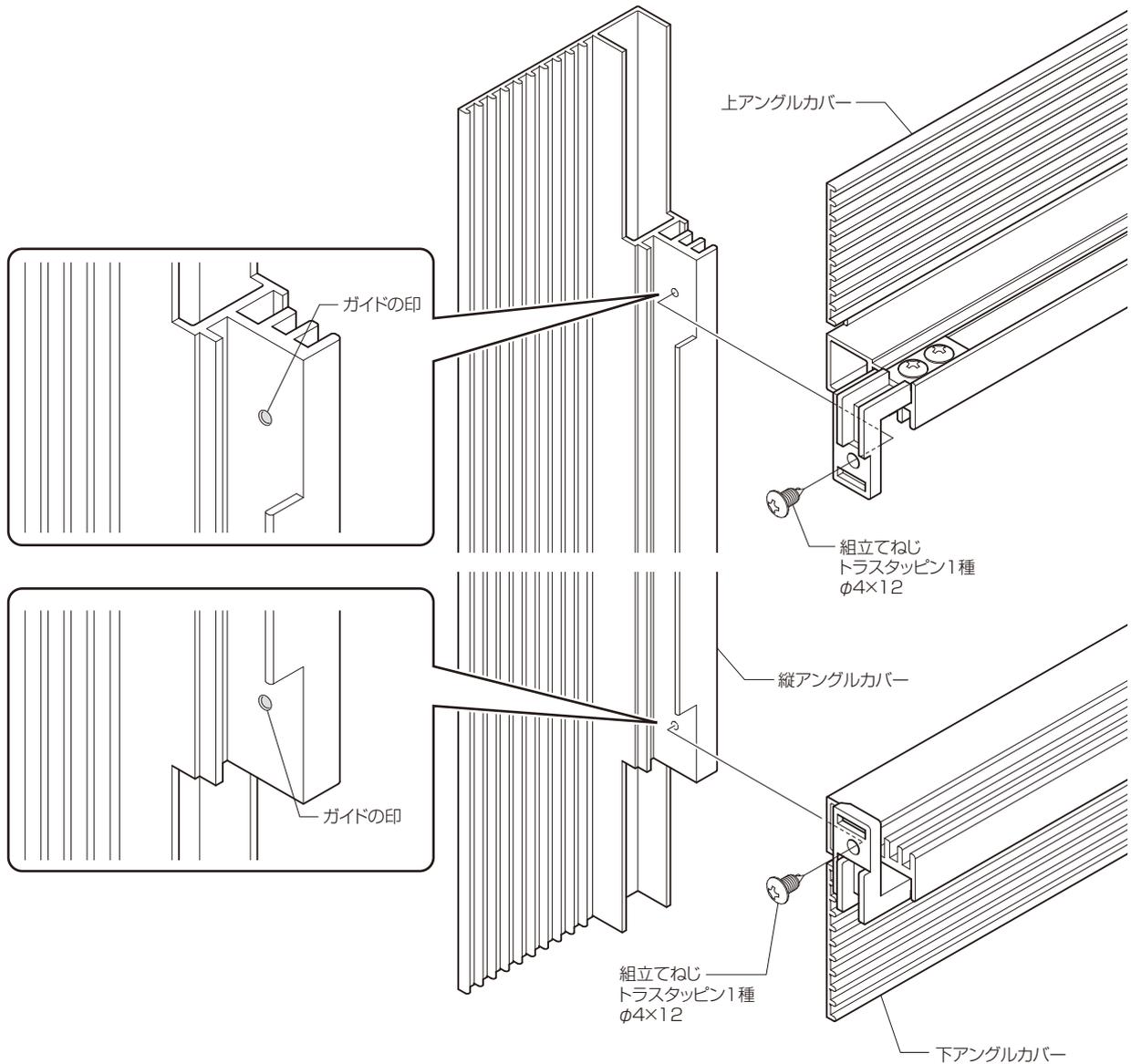


3 アングルカバーの組立て

アングルカバーは、分割での取付けでも組立ててからの取付けでも、どちらでもできます。
現場の状況にあわせて選択してください。

※組立てる場合には、ガイドの印がされているので同梱のアングルカバー組立てねじを使用して組立ててください。

※連窓用FIXアングルカバーの場合は、連窓側の縦アングルカバーの組立てはできません。



※浴室 窓単独交換の場合は、P.7へ進んでください。

※浴室 窓単独交換の場合は、P.7へ進んでください。

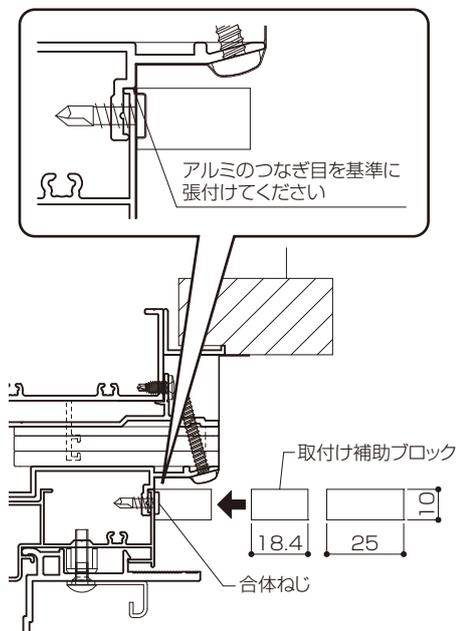
4 アングルカバーの取付け(居室用の場合)

<居室用の場合>

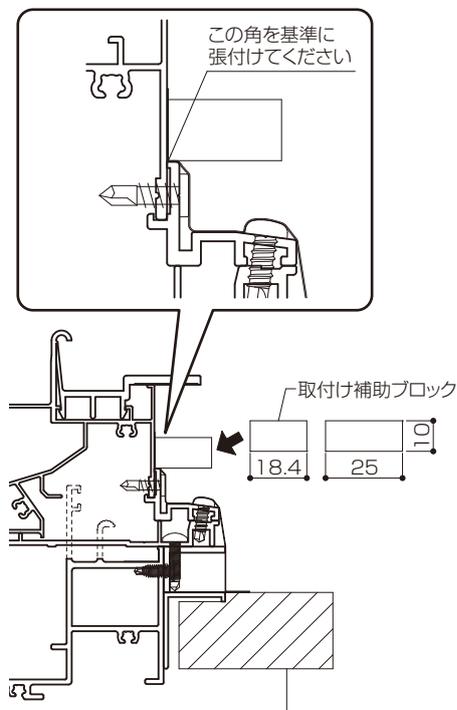
①新設サッシ枠に取付け補助ブロックを、合体ねじを避けた位置におおよそ均等になるように張付けてください。

※取付け補助ブロックは上・下・縦の各辺4個目安で入っています。

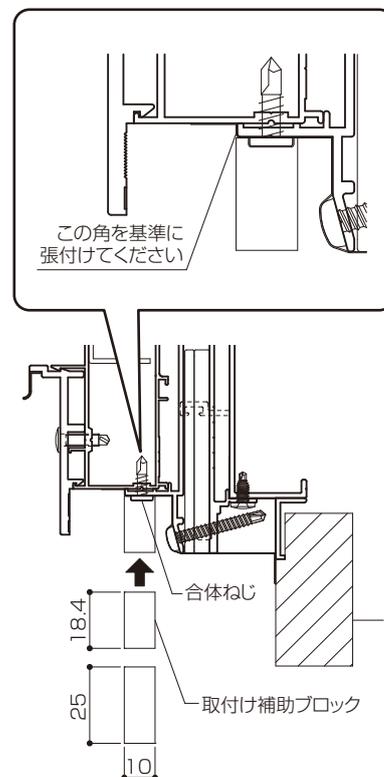
●上断面図



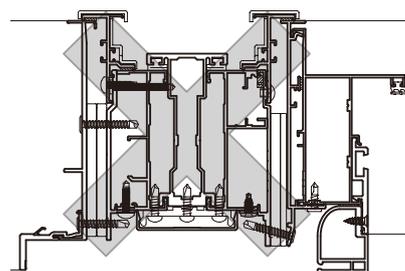
●下断面図



●縦断面図



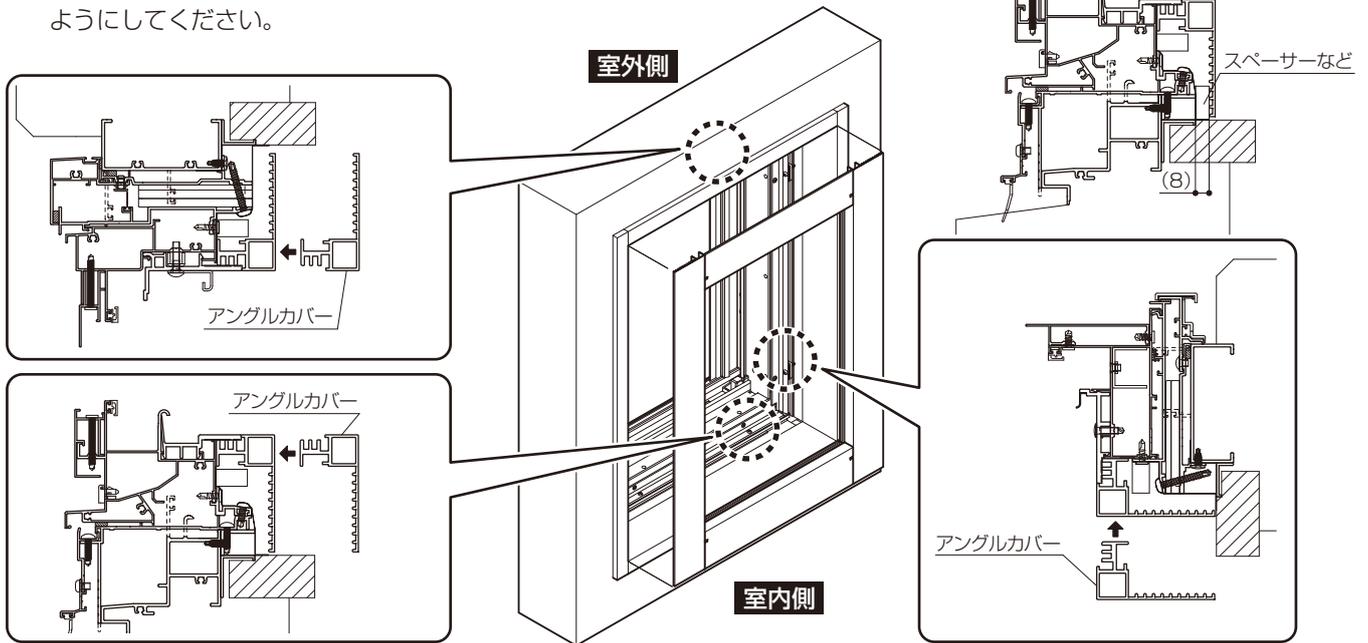
※連窓の場合は、連窓側の縦枠には取付け補助ブロックの張付けはありません。



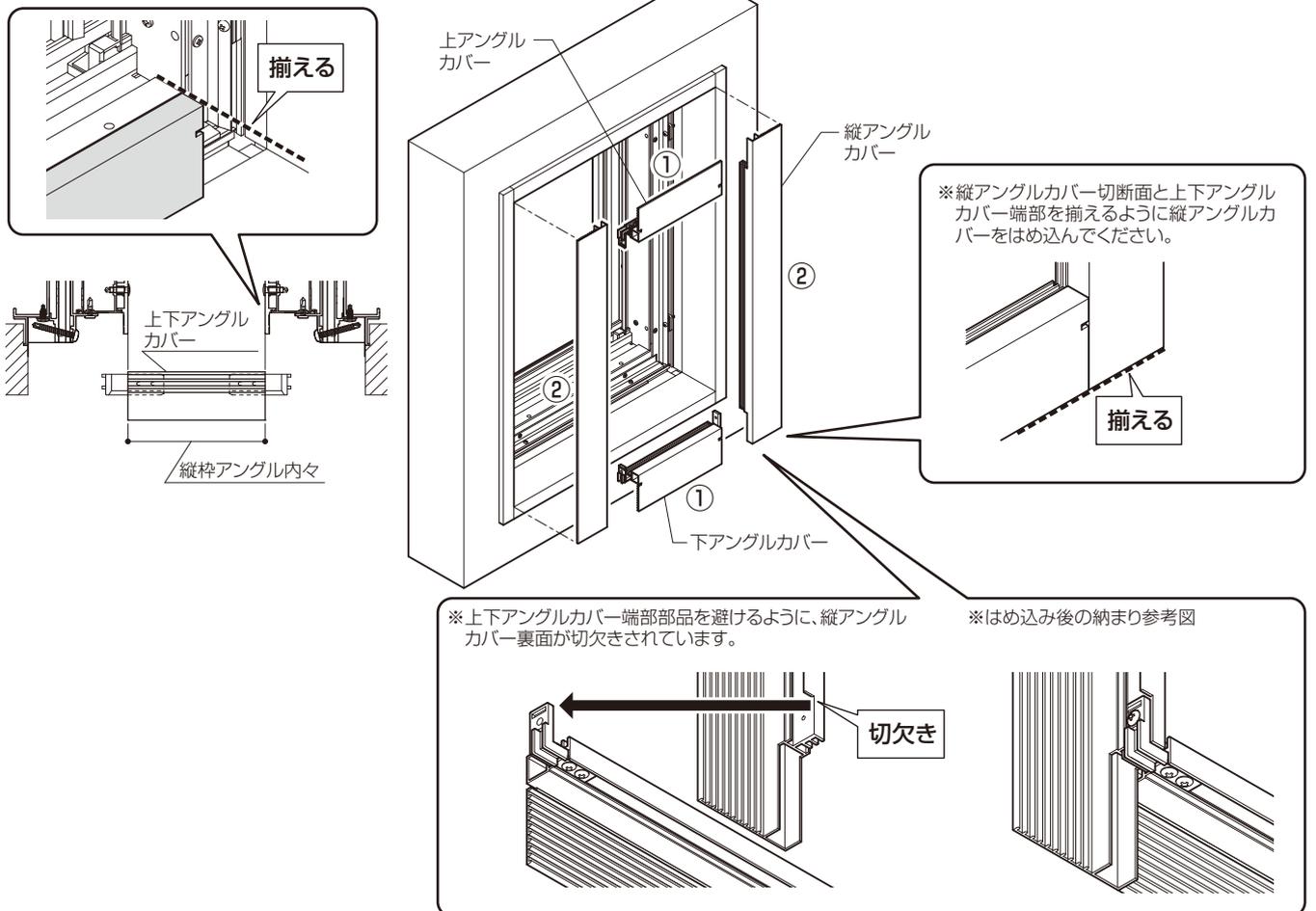
4 アングルカバーの取付け(居室用の場合)(つづき)

②アングルカバーを新設サッシ枠に取付けます。

※右図のように既設窓枠までの寸法が大きく、アングルカバーの見付けが大きくなる場合は、スペーサーなどを入れて見込みのバタつきを抑えるようにしてください。



分割して取付ける場合は、上下アングルカバー→縦アングルカバーの順に取付けます。上下のアングルカバーは、新設サッシ縦枠アングル内々に左右均等になるように取付けます。



4 アングルカバーの取付け(居室用の場合)(つづき)

③新設サッシ枠の取付け穴に合わせてアングルカバーに下穴($\phi 1.5 \sim 2$)をあけ、取付けねじで固定してください。

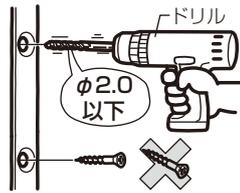
⚠ 注意



●ねじの締めすぎに注意してください。電動ドライバー使用時は、 $0.5N \cdot m$ ($5\text{kgf} \cdot \text{cm}$)程度とし、最後は必ず手で締めてください。締めつけ過ぎるとねじが効かなくなり脱落するおそれがあります。

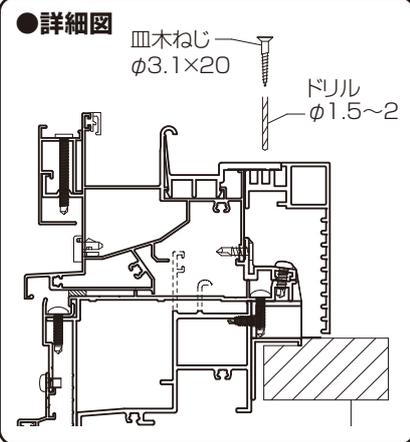
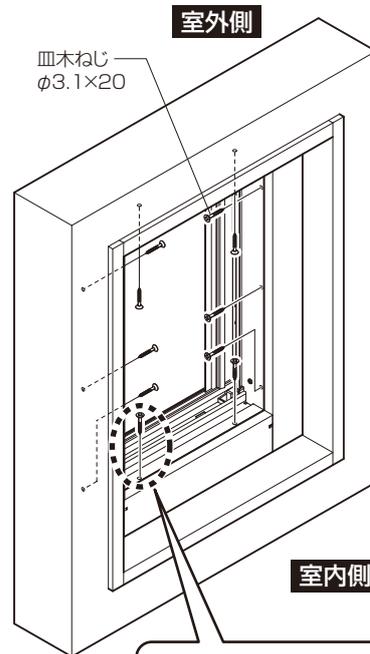
お願い

●ねじはまっすぐにねじ込んでください。



※居室用の場合は、P.10へ進んでください。

※連窓方立カバーを使用する場合は、P.16へ進んでください。



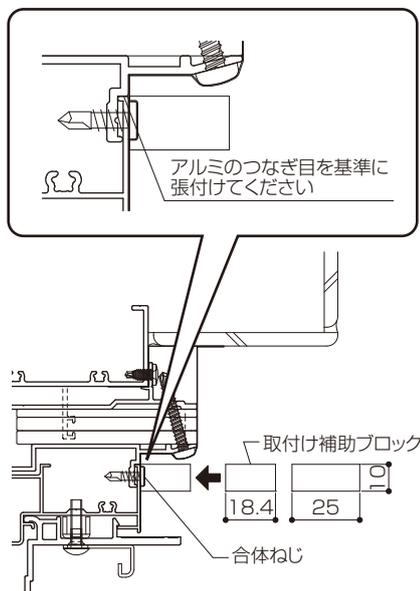
※連窓方立カバーを使用する場合は、P.16へ進んでください。

4 アングルカバーの取付け(浴室 窓単独交換の場合)

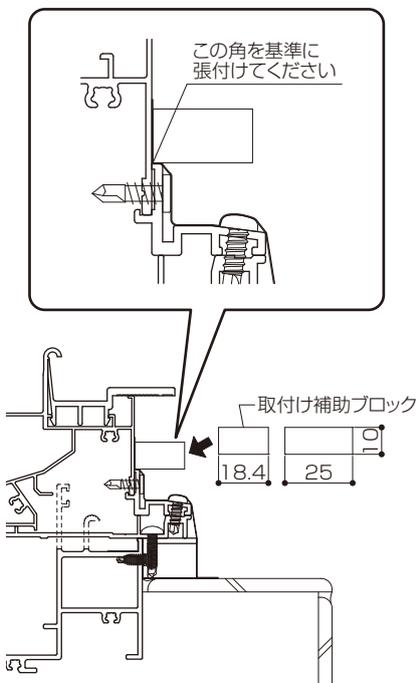
<浴室 窓単独交換の場合>

- ①新設サッシ枠に取付け補助ブロックを、枠躯体取付けねじを避けた位置におおよそ均等になるように張付けてください。
 ※取付け補助ブロックは上・下・縦の各辺4個目安で入っています。

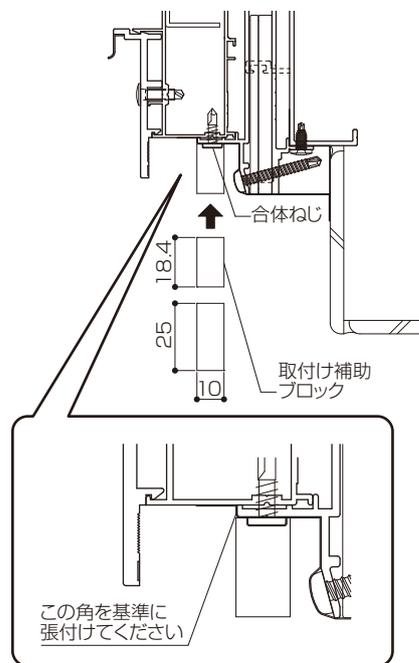
●上断面図



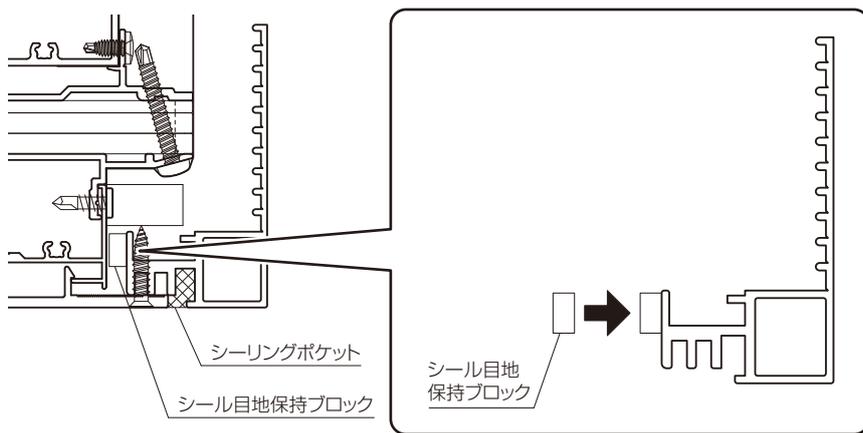
●下断面図



●縦断面図



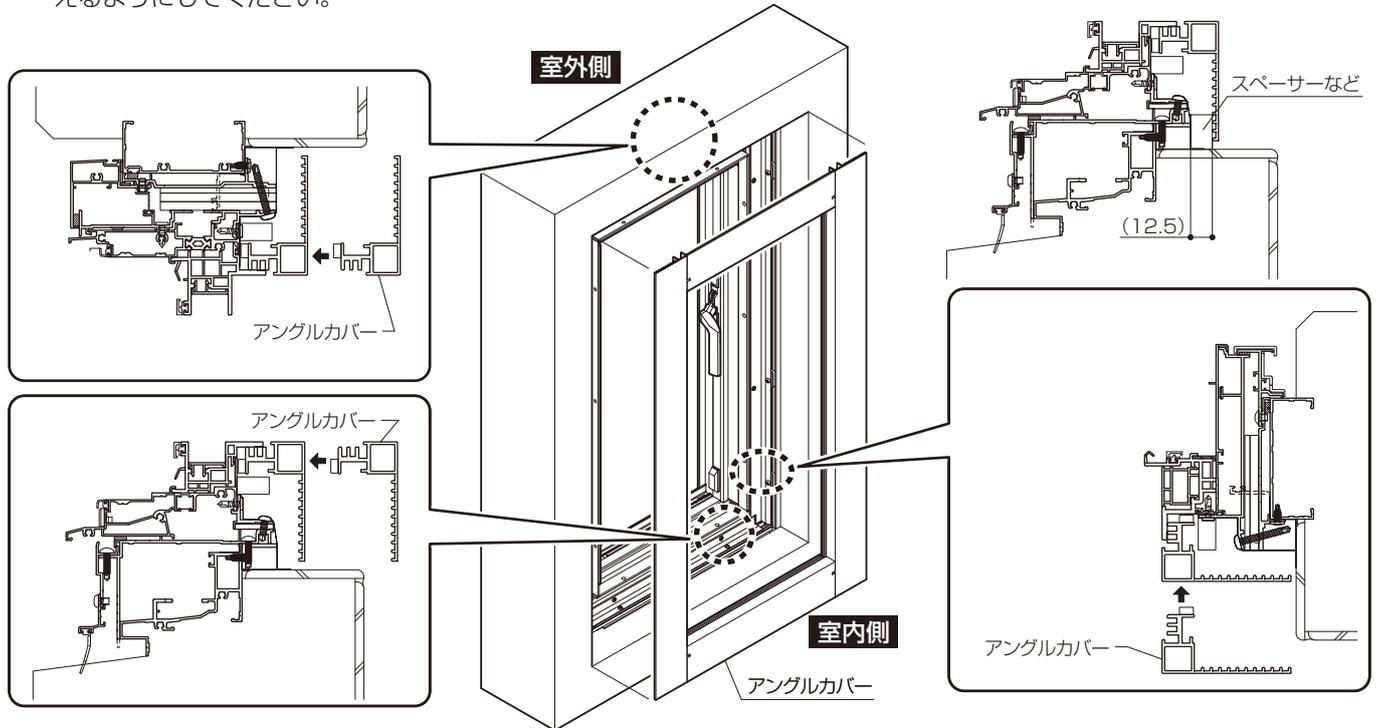
- ②新設サッシ枠とアングルカバー間の止水のため、アングルカバーにシール目地保持ブロックをおおよそ均等になるように張付けてください。
 ※シール目地保持ブロックは上・下・縦の各辺3個目安で入っています。



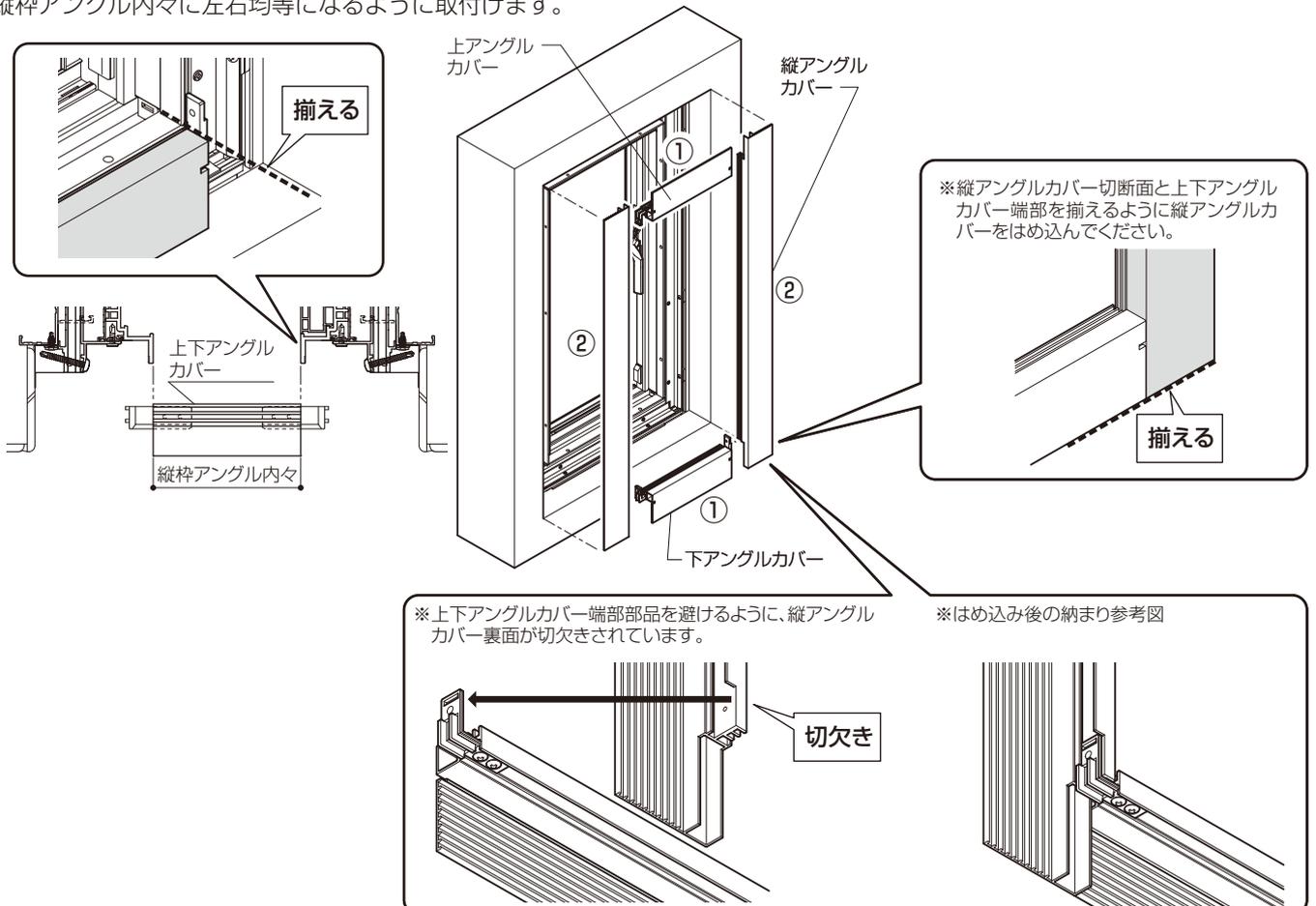
4 アングルカバーの取付け(浴室 窓単独交換の場合)(つづき)

③アングルカバーを新設サッシ枠に取付けます。

※右図のように既設窓枠までの寸法が大きく、アングルカバーの見付けが大きくなる場合は、スペーサーなどを入れて見込みのバタつきを抑えるようにしてください。



分割して取付ける場合は、上下アングルカバー→縦アングルカバーの順に取付けます。上下のアングルカバーは、新設サッシ縦枠アングル内々に左右均等になるように取付けます。



4 アングルカバーの取付け(浴室 窓単独交換の場合)(つづき)

④新設サッシ枠の取付け穴に合わせてアングルカバーに下穴(φ1.5~2)をあけ、取付けねじで固定してください。

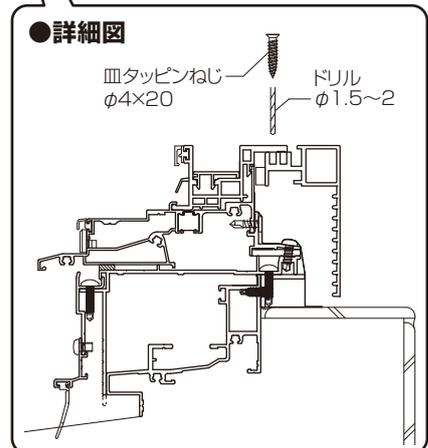
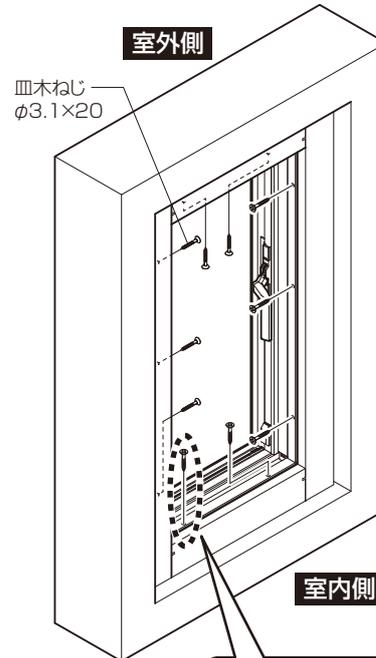
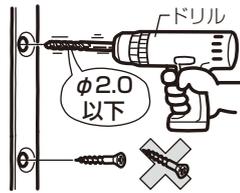
▲ 注意



●ねじの締めすぎに注意してください。電動ドライバー使用時は、 $0.5\text{N}\cdot\text{m}$ ($5\text{kgf}\cdot\text{cm}$)程度とし、最後は必ず手で締めてください。締めつけ過ぎるとねじが効かなくなり脱落するおそれがあります。

お願い

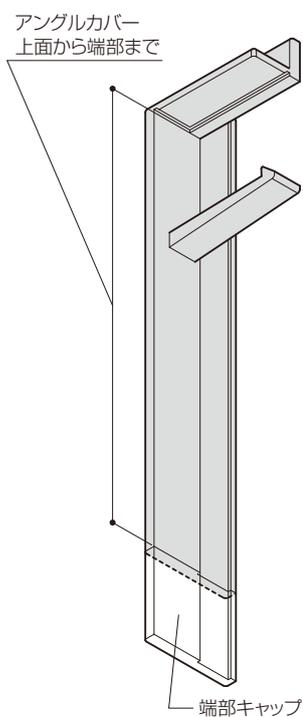
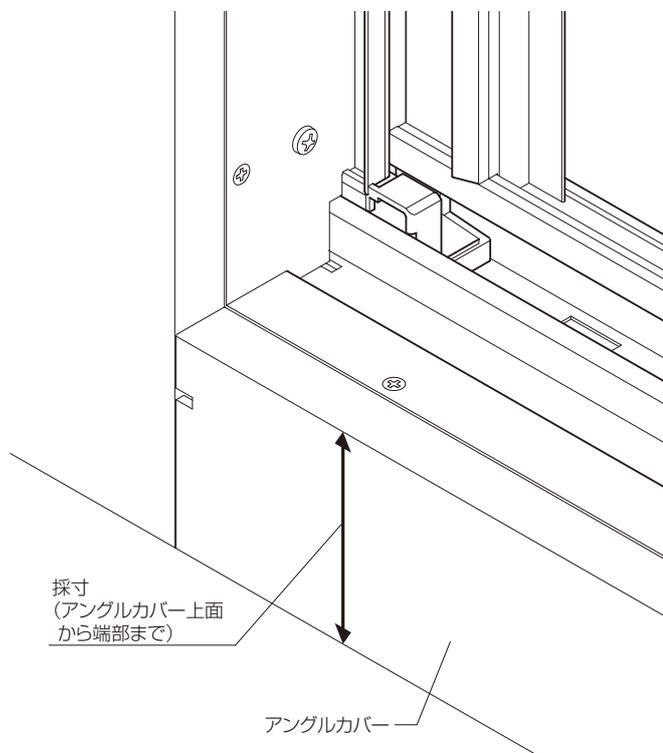
●ねじはまっすぐにねじ込んでください。



※見切材ありの場合は、P.12へ進んでください。

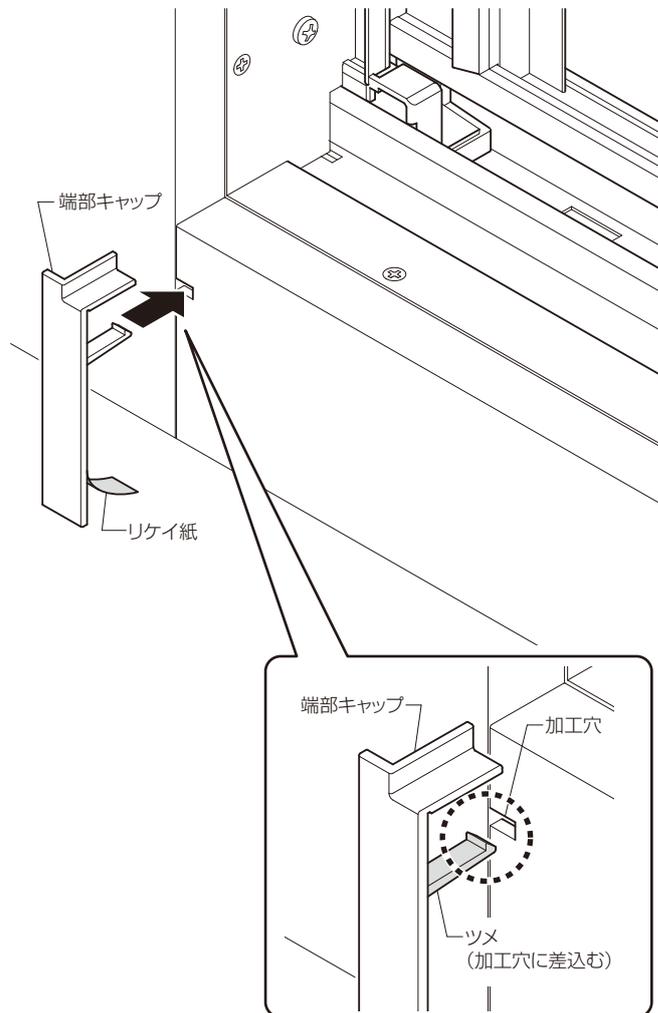
5 アングルカバー-端部キャップの加工(見切材なしの場合)

端部キャップをアングルカバーに合わせて切断してください。



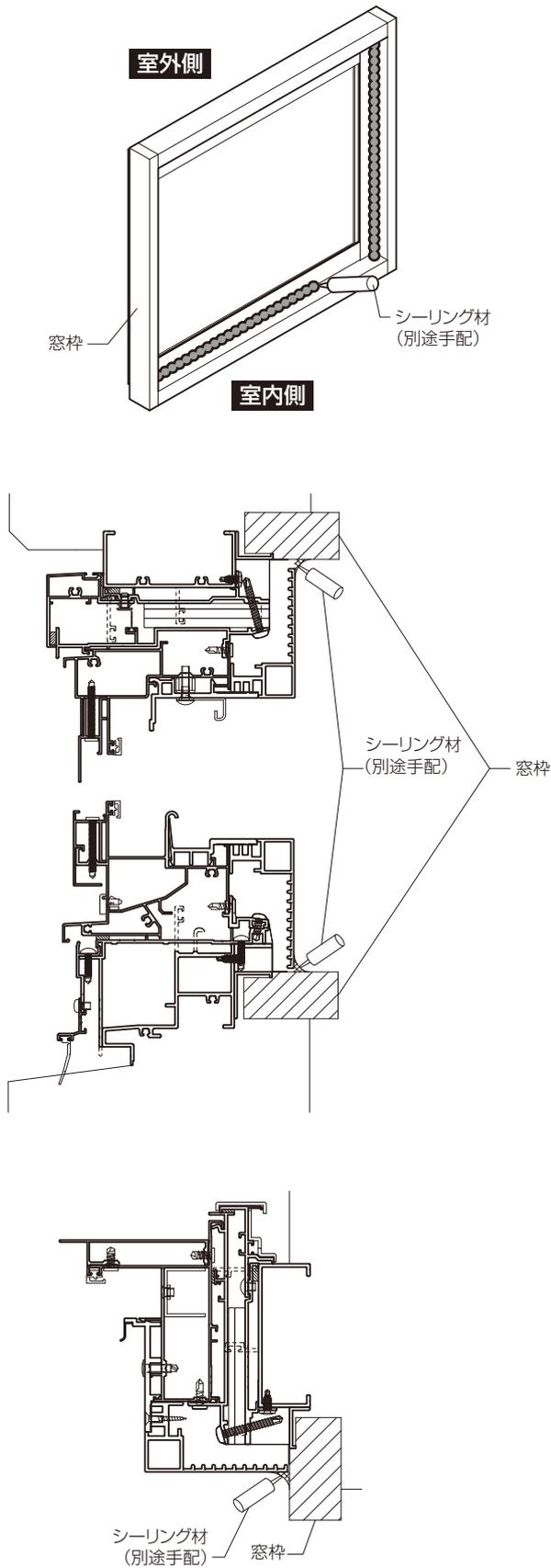
6 アングルカバー-端部キャップの取付け(見切材なしの場合)

端部キャップのリケイ紙をはがして、端部加工穴に差し込み、張付けてください。



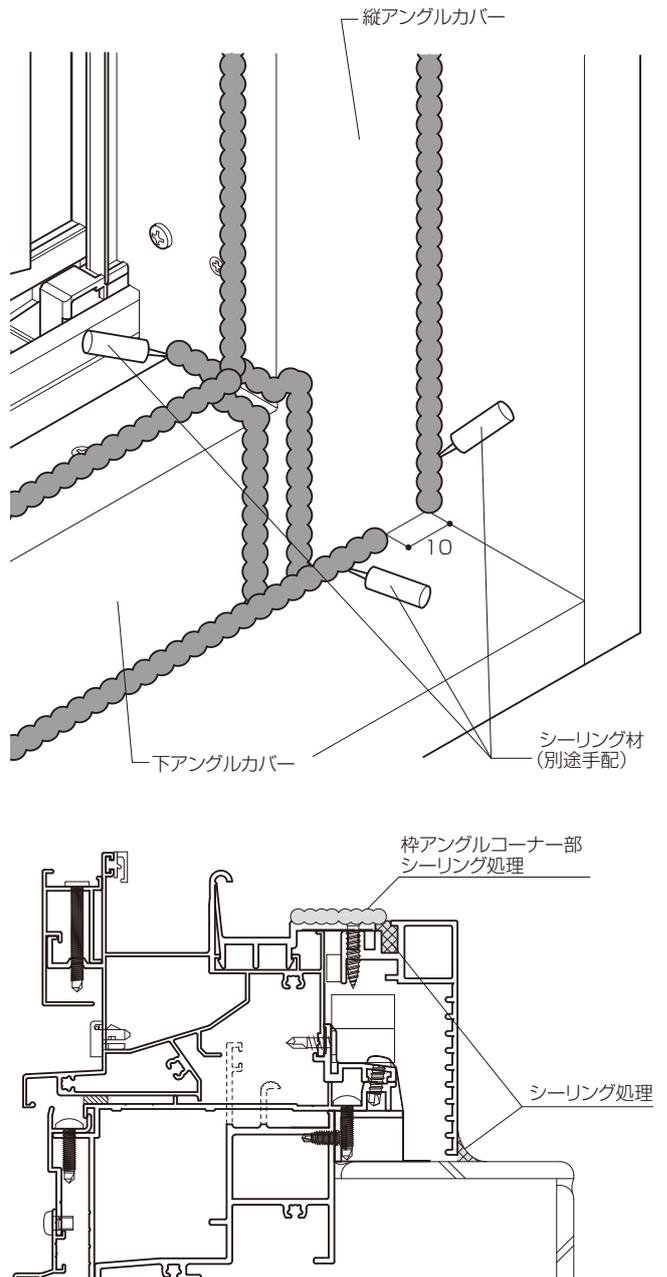
7 アングルカバーのシーリング処理(見切材なしの場合)

①窓枠とアングルカバーのすき間をシーリング処理してください。



■浴室 窓単独交換の場合

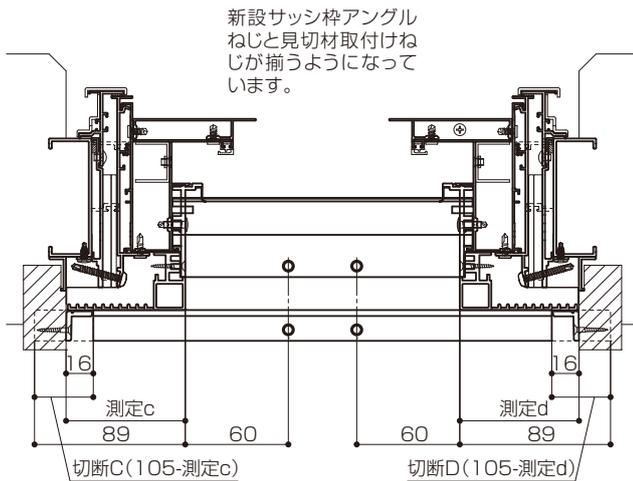
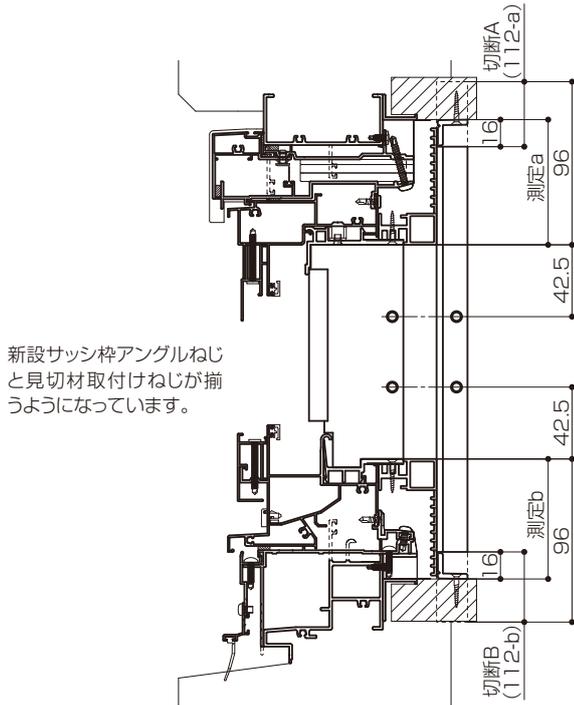
排水経路を確保するため、アングルカバーの下側両端部10mmはシーリングしないでください。



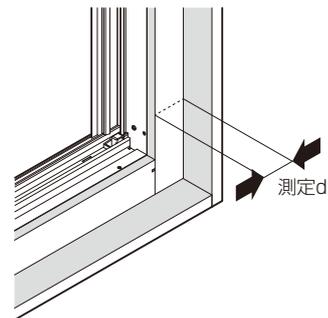
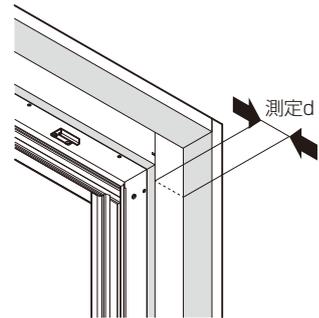
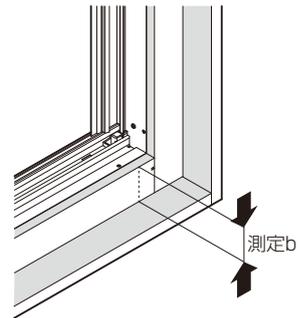
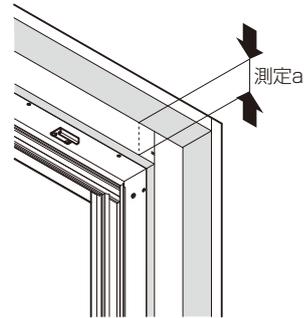
8 見切材の切断寸法の確認(見切材ありの場合)

1で測定したa～dから、切断A～Dを決めてください。

	上枠	下枠	左縦枠	右縦枠
採寸	a	b	c	d
切断	A(112-a)	B(112-b)	C(105-c)	D(105-d)



※下図のようにa～dの測定は端部で実施してください。

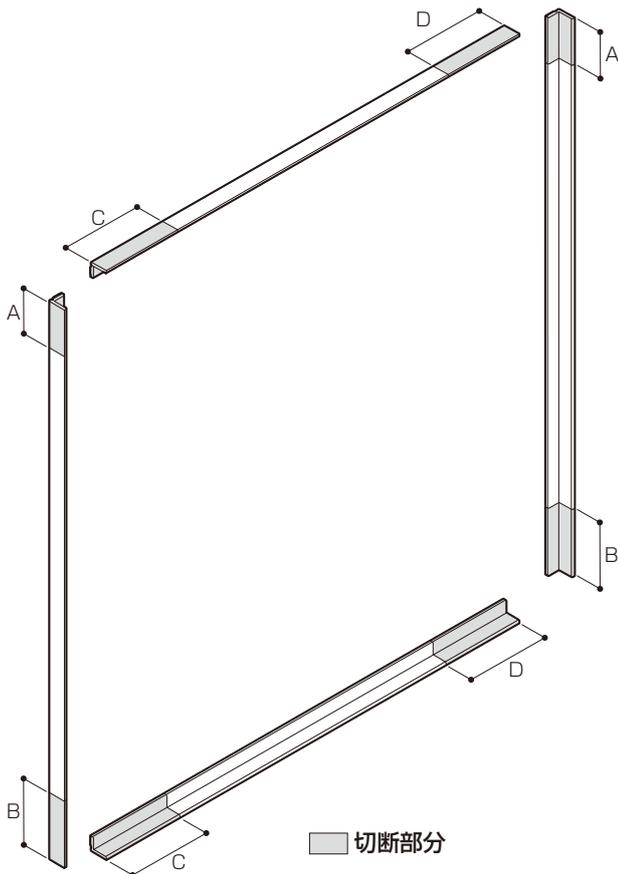


9 見切材の加工

見切材を決定したA～Dに合わせて切断してください。

お願い

- 切断小口は鋭利な部分が残らないようにヤスリなどで仕上げてください。
- 見切材は上下寸法、左右寸法をそれぞれ端部から切断機などで切断してください。合計の切断寸法で片側から切断すると、新設サッシ枠のアングルねじと見切材固定ねじの位置にズレが発生します。

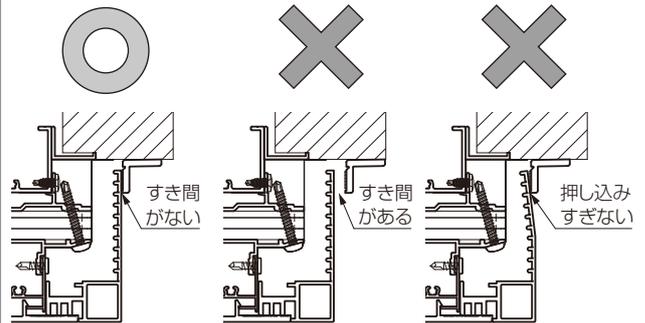


10 見切材の取付け

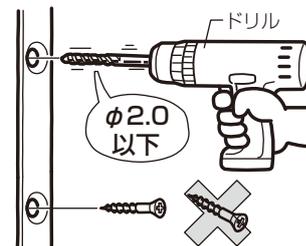
- ①見切材のリケイ紙をはがして、窓枠に当ててスライドさせながらアングルカバーとすき間が出ないようにアングルカバーに押し付けて圧着してください。
※新設サッシ枠のアングルねじ穴と見切材の取付け穴位置に合わせて固定します。
- ②圧着したら、取付け穴に合わせて窓枠に下穴(φ1.5～2)をあけ、取付けねじで固定してください。

お願い

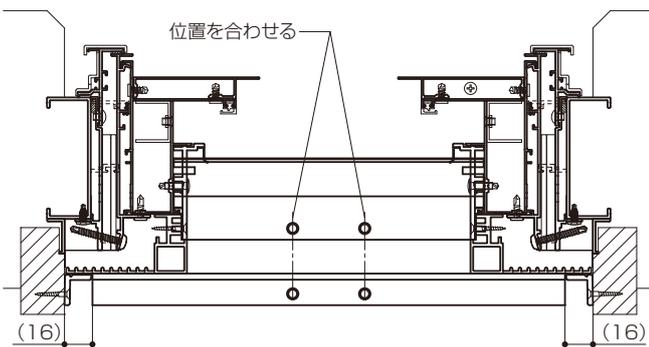
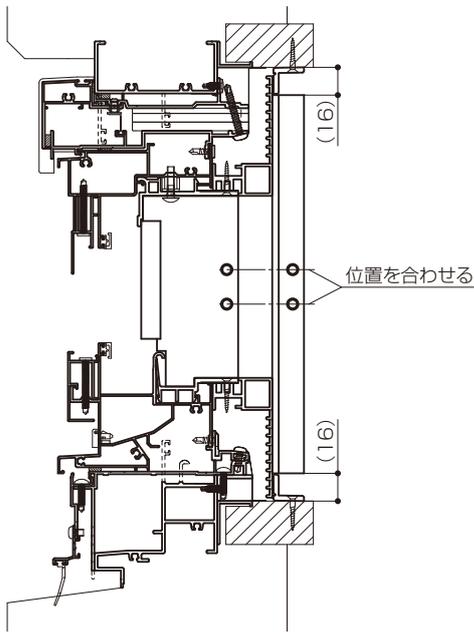
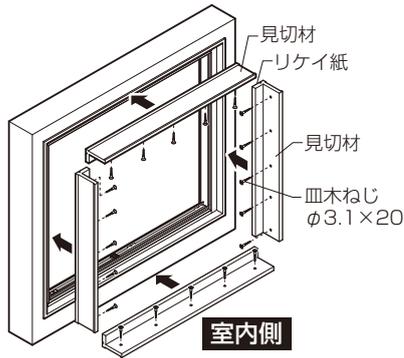
- 見切材はすき間なく取付けてください。その際、見切材を押し込んで、アングルカバーが曲がらないようにしてください。



- ねじはまっすぐにねじ込んでください。
- ねじの締めすぎに注意してください。

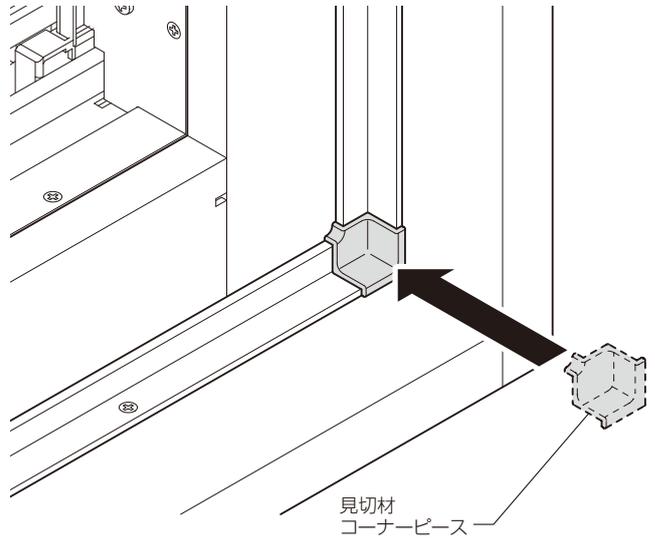
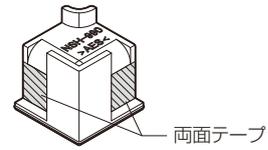


Ⅳ 見切材の取付け(つづき)

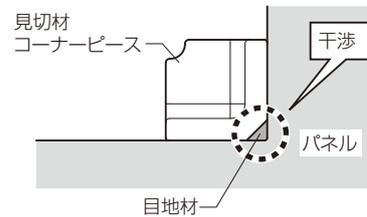


Ⅴ 見切材コーナーピースの取付け

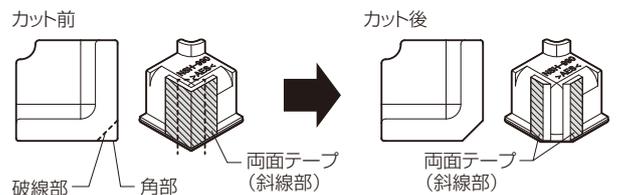
- ①見切材コーナーピース取付け部を必ず清掃し、汚れ(泥・砂)・ホコリ・油などを取ってください。
※取付け部に汚れ(泥・砂)・ホコリ・油などが付着していると、両面テープの接着力が低下し、外れの原因になるおそれがあります。
- ②裏面のリケイ紙をはがし、見切材コーナー部に合わせます。
※張直しをしないでください。接着力が低下し、外れの原因になるおそれがあります。
- ③窓枠に強く押付けて圧着してください。
※両面テープが付きにくい場合は、見切材コーナーピースの下図斜線部に両面テープ(現場手配/厚さ0.3mm以下)を張付けて、見切材に圧着してください。



- ※キッチンなどでパネルのコーナー部に目地材などがある場合は、見切材コーナーピースの角部(下図破線部)をカットして干渉しないようにしてください。



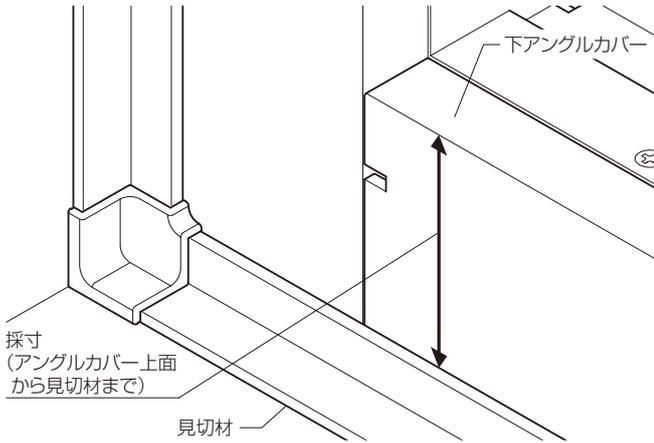
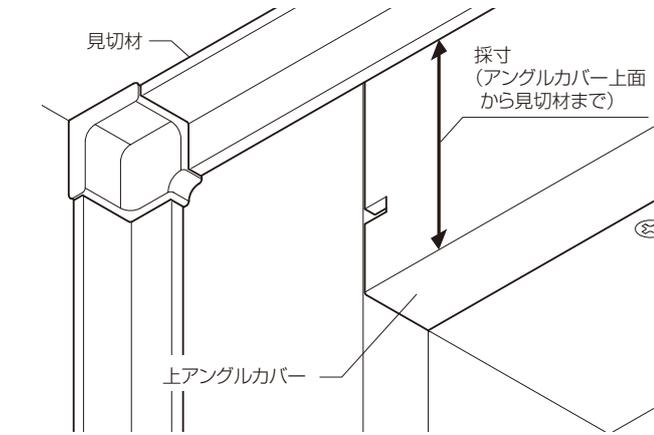
【見切材コーナーピースカット位置】



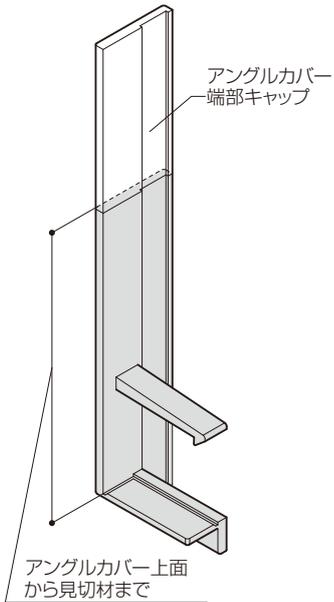
- ※カットする時に両面テープをはがさないように注意してください。

12 アングルカバー-端部キャップの加工(見切材ありの場合)

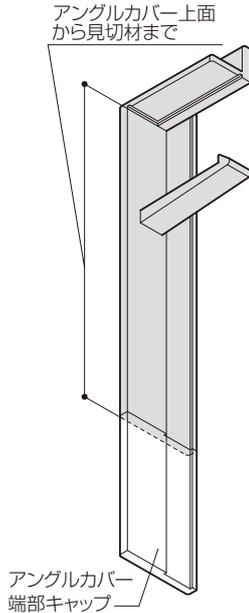
端部キャップをアングルカバー・見切材に合わせて切断してください。



【上側】

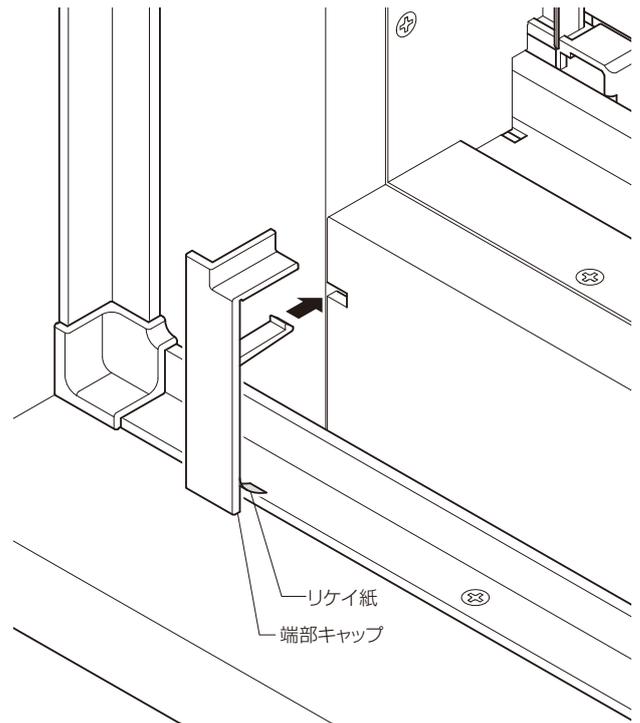
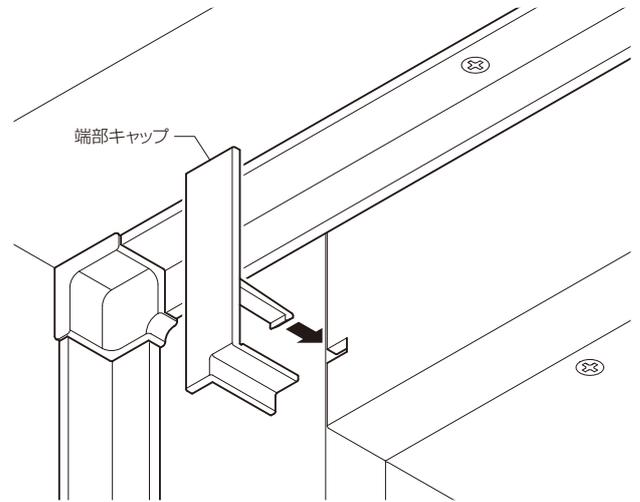


【下側】



13 アングルカバー-端部キャップの取付け(見切材ありの場合)

端部キャップのリケイ紙をはがして、端部加工穴に差込み、張付けてください。



■連窓方立カバー一部の取付け

■連窓方立カバー仕様の施工手順

■引違い窓—FIX窓連窓の場合

- 1 FIX側アングルカバーの切断寸法の確認 P.2
- 2 FIX側アングルカバーの加工 P.2
- 3 FIX側アングルカバー3方の組立て P.3
- 4 FIX側アングルカバー4方の取付け P.4~6
- 5 連窓方立部の測定 P.16
- 6 連窓方立カバーの加工 P.17
- 7 連窓方立カバー受け材の切断寸法の確認 P.17
- 8 連窓方立カバー受け材の加工 P.18
- 9 連窓方立カバー受け材の取付け P.18
- 10 連窓部の気密テープの張付け P.19
- 11 連窓方立カバーの取付け P.20
- 12 連窓方立カバー端部すき間埋め材の取付け P.21
- 13 引違い側アングルカバーの切断寸法の確認
..... 引違い窓アングルカバー説明書 P.2
- 14 引違い側アングルカバーの加工
..... 引違い窓アングルカバー説明書 P.2
- 15 引違い側アングルカバー端部キャップの加工
..... 引違い窓アングルカバー説明書 P.3
- 16 引違い側アングルカバー3方の取付け
..... 引違い窓アングルカバー説明書 P.4~5
- 17 連窓用見切材の切断寸法の確認 P.22
- 18 連窓用見切材の加工 P.23
- 19 連窓用見切材の取付け P.23~24
- 20 見切材コーナーピースの取付け P.24
- 21 FIX側アングルカバー端部キャップの取付け P.15

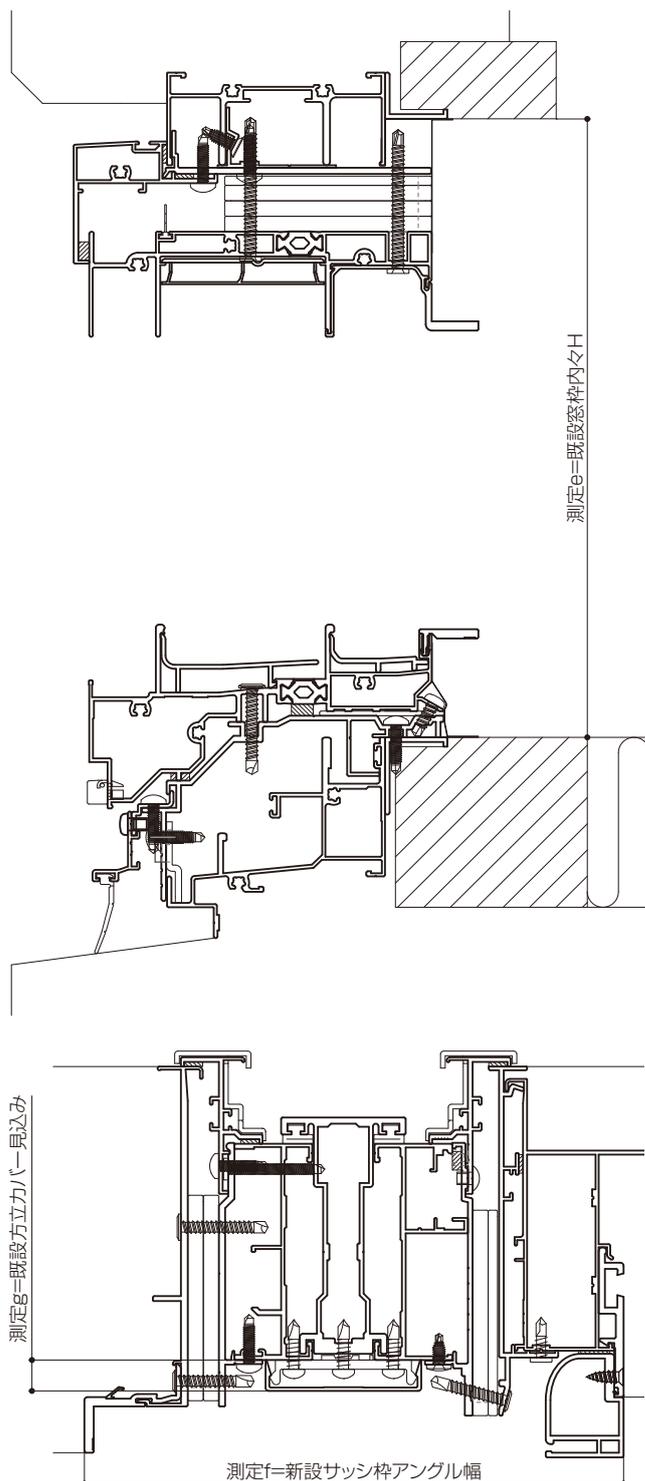
■FIX窓—FIX窓連窓の場合

- 1 片方のFIX側アングルカバーの切断寸法の確認 ... P.2
- 2 片方のFIX側アングルカバーの加工 P.2
- 3 片方のFIX側アングルカバー3方の組立て P.3
- 4 片方のFIX側アングルカバー4方の取付け P.4~6
- 5 連窓方立部の測定 P.16
- 6 連窓方立カバーの加工 P.17
- 7 連窓方立カバー受け材の切断寸法の確認 P.17
- 8 連窓方立カバー受け材の加工 P.18
- 9 連窓方立カバー受け材の取付け P.18
- 10 連窓部の気密テープの張付け P.19
- 11 連窓方立カバーの取付け P.20
- 12 連窓方立カバー端部すき間埋め材の取付け P.21
- 13 片方のFIX側アングルカバーの切断寸法の確認 ... P.2
- 14 片方のFIX側アングルカバーの加工 P.2
- 15 片方のFIX側アングルカバー3方の組立て P.3
- 16 片方のFIX側アングルカバー3方の取付け P.4~6
- 17 連窓用見切材の切断寸法の確認 P.22
- 18 連窓用見切材の加工 P.23
- 19 連窓用見切材の取付け P.23~24
- 20 見切材コーナーピースの取付け P.24
- 21 FIX側アングルカバー端部キャップの取付け ... P.15

5 連窓方立部の測定

- ・ 既設窓枠のH内々を測定し、連窓方立カバーの切断する長さを決めてください。
- ・ 新設サッシ枠アングルの幅を測定してください。
- ・ 既設方立カバー見込みを測定してください。

	既設窓枠内々H	新設サッシ枠アングル幅	既設方立カバー見込み
採寸	e	f	g
切断	長さ(e-5)		



6 連窓方立カバー・連窓用アングルカバーの加工

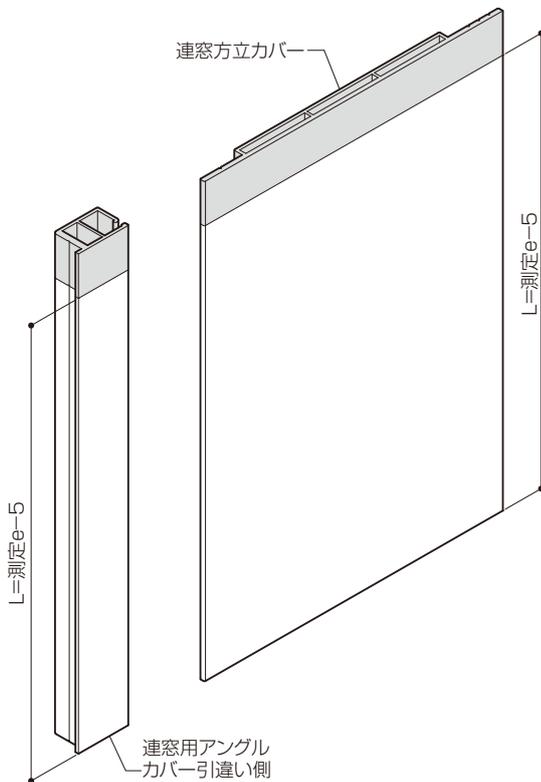
連窓方立カバーをP.16 5で測定した寸法から切断する溝を決めて、切断してください。



連窓方立カバー・連窓用アングルカバーを決定した長さで切断してください。

お願い

- FIX窓-FIX窓連窓の場合は、連窓用FIXアングルカバー連窓側をP.2を参照して、必ず上下から切詰めしてください。上下から切詰めしないと切欠きが露出する場合があります。



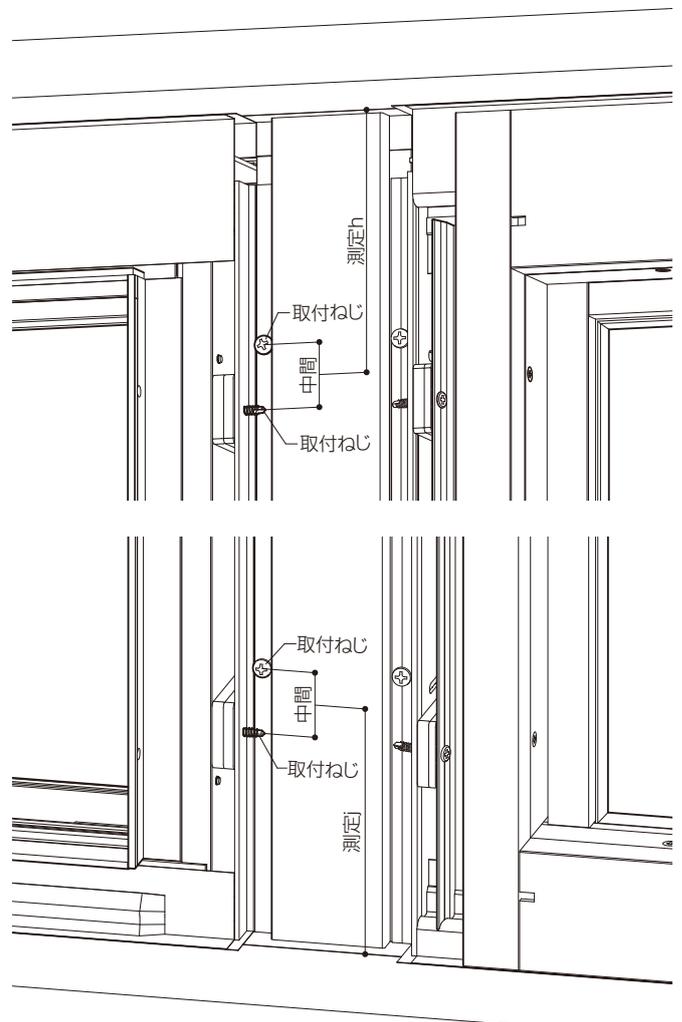
7 連窓方立カバー受け材の切断寸法の確認

P.16 5の測定で既設方立カバーの見込み寸法が21mm以上の場合は、P.19 10へ進んでください。

見込みが20mm以下の場合は、窓枠から取付けねじ中間くらいまでのh～jを測定し、受け材の切断する長さを決めてください。

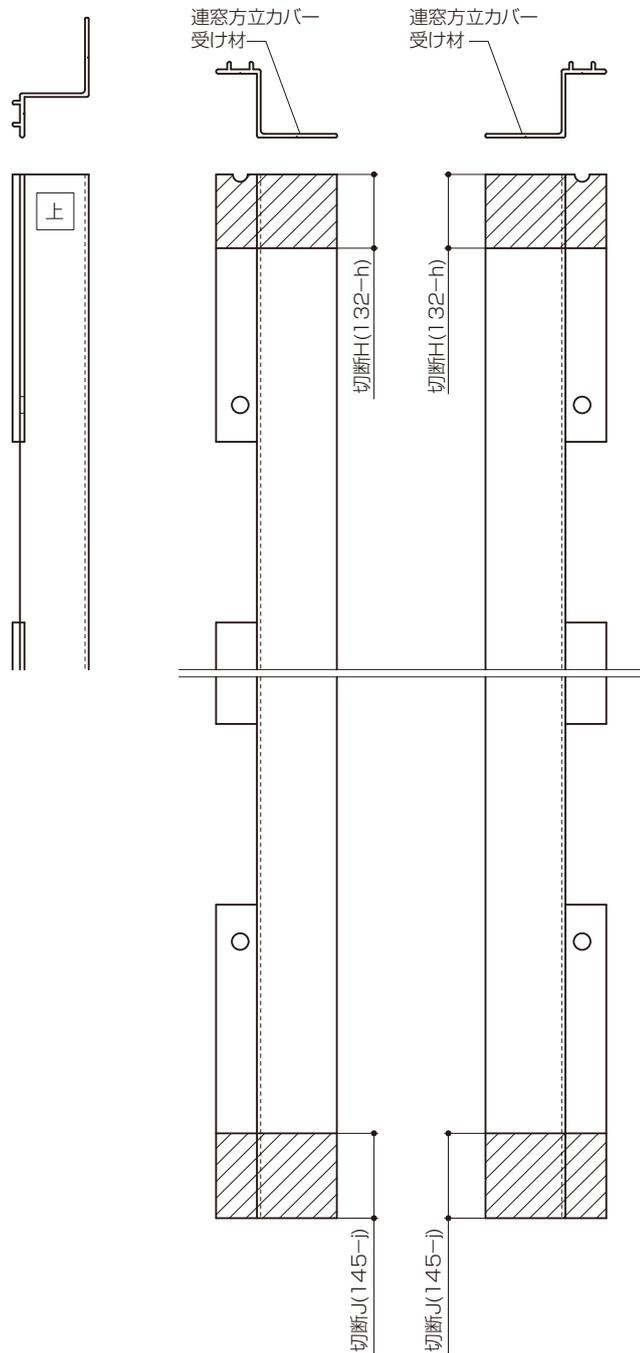
又は、受け材の切欠き部を取付けねじを避けるように当てがい、切断する長さを決めてください。

	上枠	下枠
採寸	h	j
切断	H(132-h)	J(145-j)



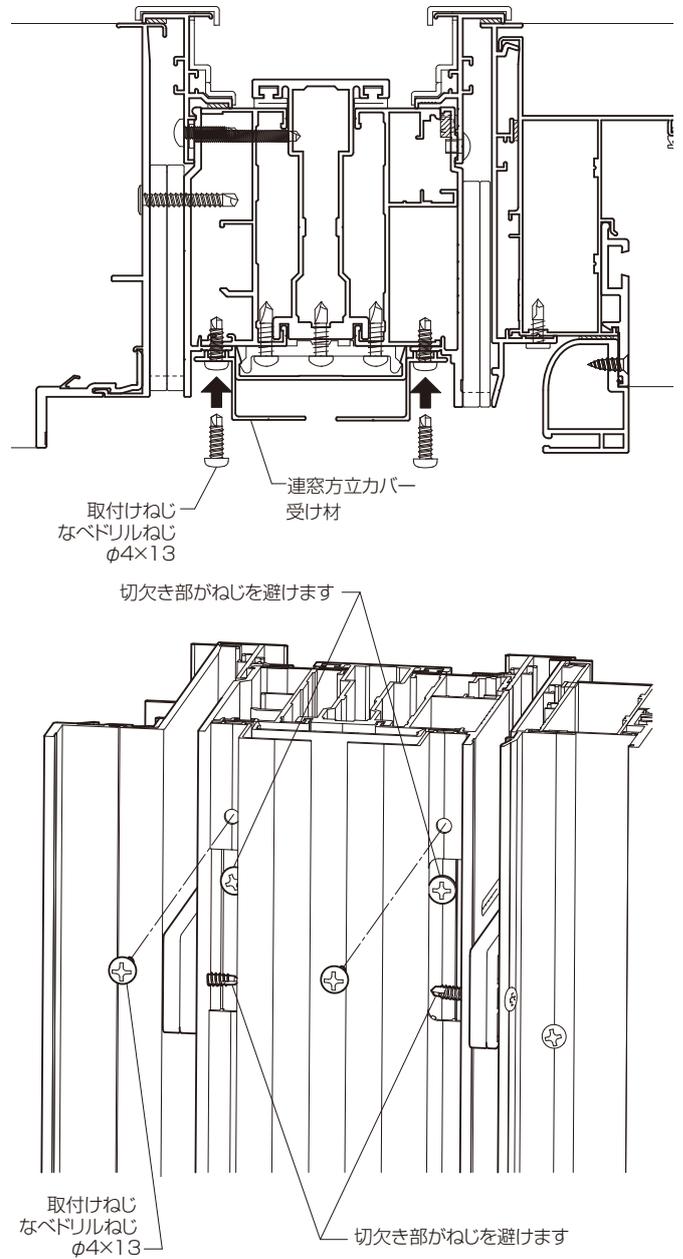
8 連窓方立カバー受け材の加工

連窓方立カバー受け材を決定した長さで切断してください。
 ※上シールが張り付けてある方が上になります。



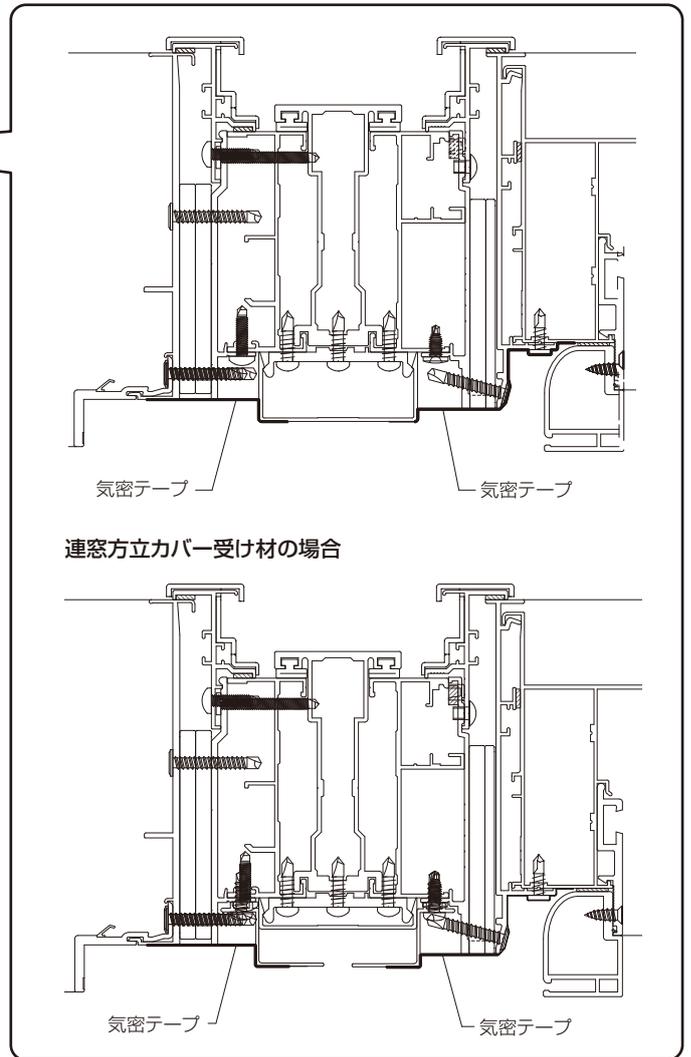
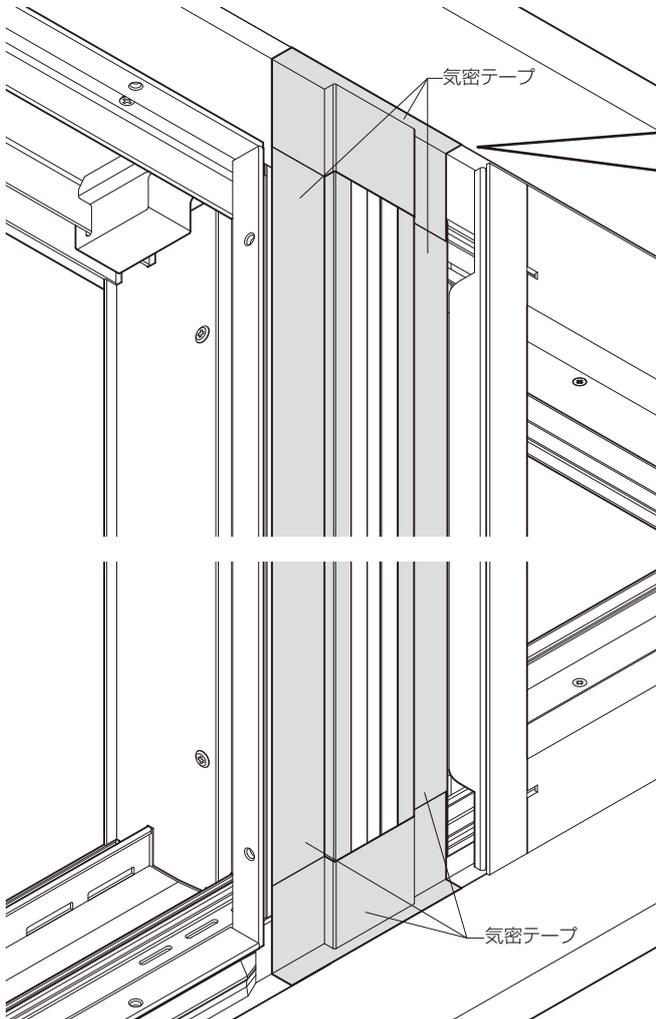
9 連窓方立カバー受け材の取付け

連窓方立カバー受け材を既設方立カバー材にあてながら、ベース材に設置し、ねじ止めしてください。

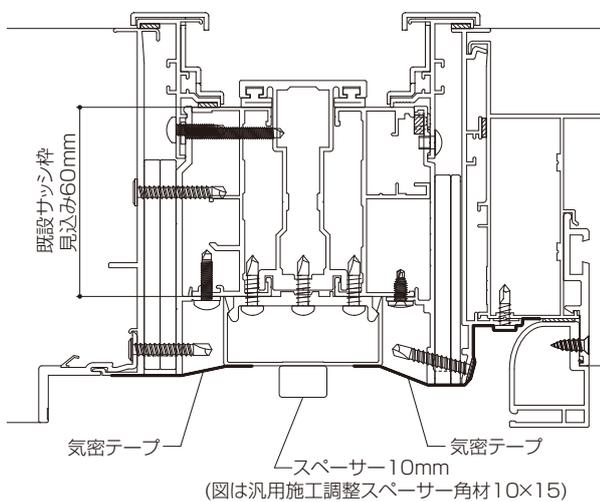


10 気密テープの張付け

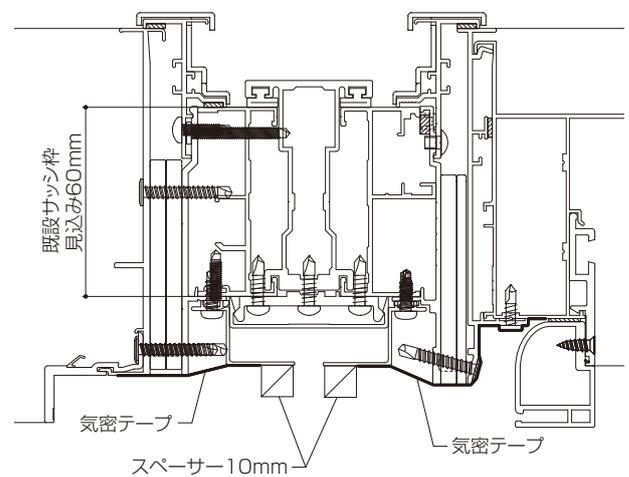
図を参考にローラー、へらなどを使用し、気密テープを浮き、すき間なく張付けてください。端部は重ね合わせて張付けてください。



※既設サッシ枠見込み60mmの場合は、連窓方立カバーを受けるため、10mm分のスペーサーを両面テープ等で張付けてください。



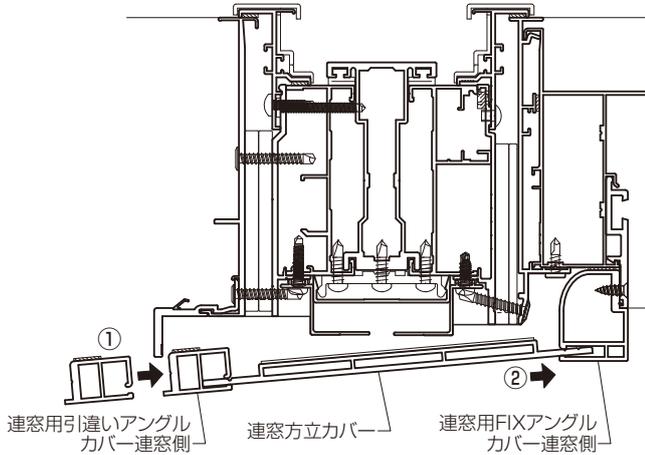
連窓方立カバー受け材の場合



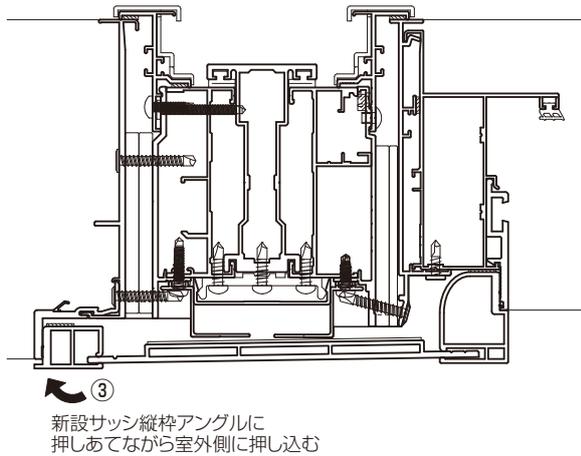
Ⅳ 連窓方立カバー・連窓用アングルカバーの取付け

- ①連窓用引違いアングルカバー連窓側を連窓方立カバーにはめてください。
- ②①の連窓方立カバーを新設サッシに取付けた連窓用FIXアングルカバー連窓側にはめてください。

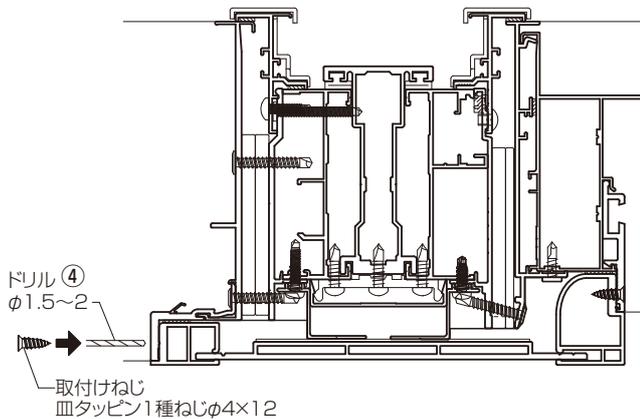
左図は、引違い窓—FIX窓連窓の場合を示しますが、FIX窓—FIX窓連窓の場合も手順は同じです。



- ③新設サッシ縦枠アングルに連窓用FIXアングルカバー連窓側を押しあてながら、室外側に押し込んでください。

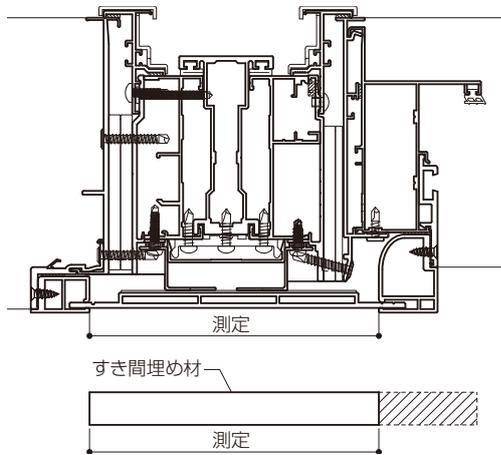


- ④新設サッシ枠の取付け穴に合わせてアングルカバーに下穴(φ1.5~2)をあけ、取付けねじで固定してください。

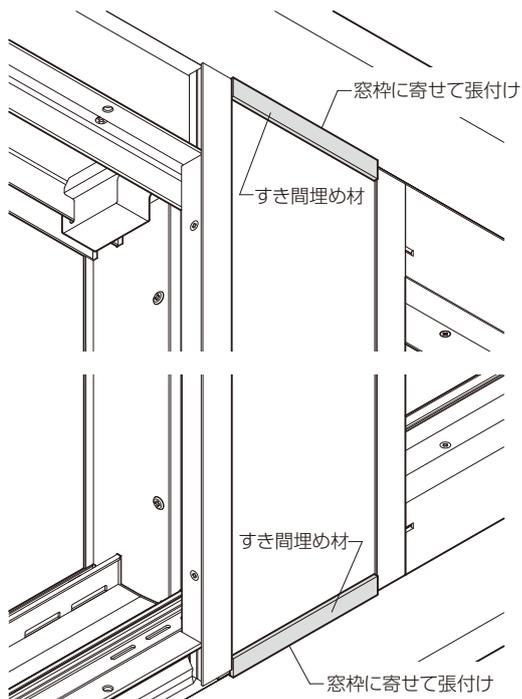
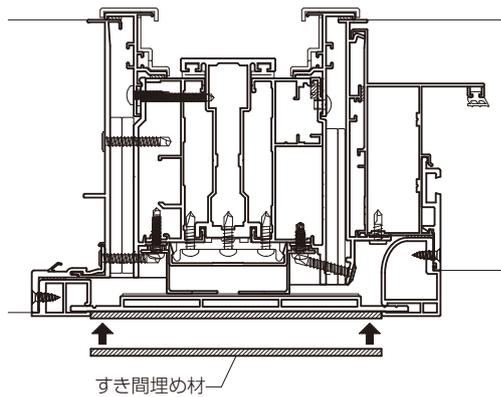


12 連窓方立カバー端部すき間材の取付け

左右の連窓用アングルカバーの間を測定してください。
測定した寸法にすき間埋め材を切断してください。



連窓方立カバーの端部にすき間埋め材を張り付けてください。
※上端は窓枠と連窓方立カバー材にすき間がありますので、
窓枠に合わせて張り付けてください。



13 ~ 16

■引違い側のアングルカバーは、見切材取付け前に引違いアングルカバー同梱の組立て・取付け説明書のP.2~5を参照して、取付けてください。

- 13 引違い側アングルカバーの切断寸法の確認
..... 引違い窓アングルカバー説明書 P.2
- 14 引違い側アングルカバーの加工
..... 引違い窓アングルカバー説明書 P.2
- 15 引違い側アングルカバー端部キャップの加工
..... 引違い窓アングルカバー説明書 P.3
- 16 引違い側アングルカバー3方の取付け
..... 引違い窓アングルカバー説明書 P.4~5

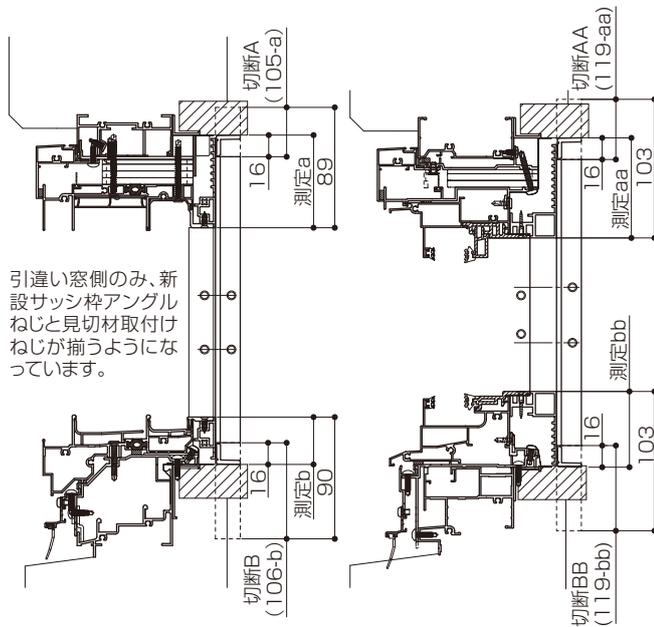
17 連窓用見切材の切断寸法の確認

新設サッシ枠アングルから窓枠までを測定し、切断する長さを決めてください。

引違い側	上枠	下枠	縦枠
採寸	a	b	c
切断	A(105-a)	B(106-b)	C(105-c)
FIX側	上枠	下枠	縦枠
採寸	aa	bb	cc
切断	AA(119-aa)	BB(119-bb)	CC(112-cc)

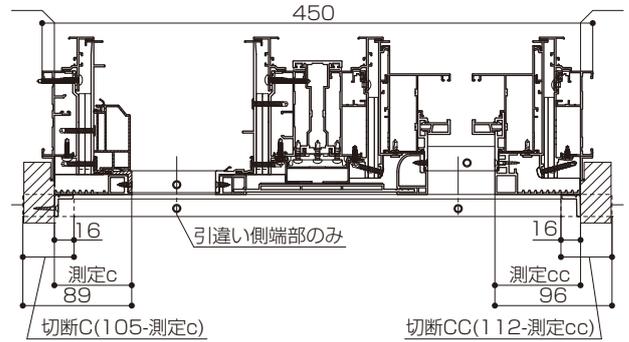
引違い側

FIX側

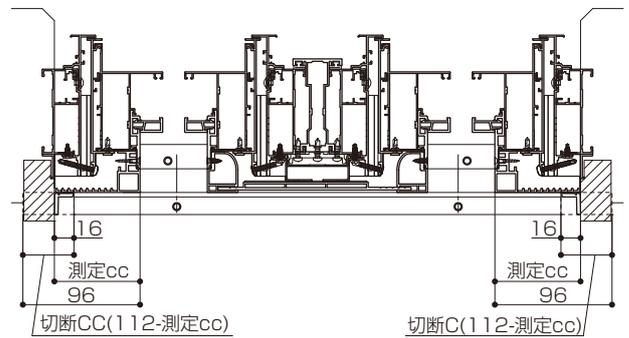


CHECK! 縦見切材の取付け穴は引違い窓のアングル穴に合せてあります。FIX窓のアングル穴には合いません。

引違い側



FIX側

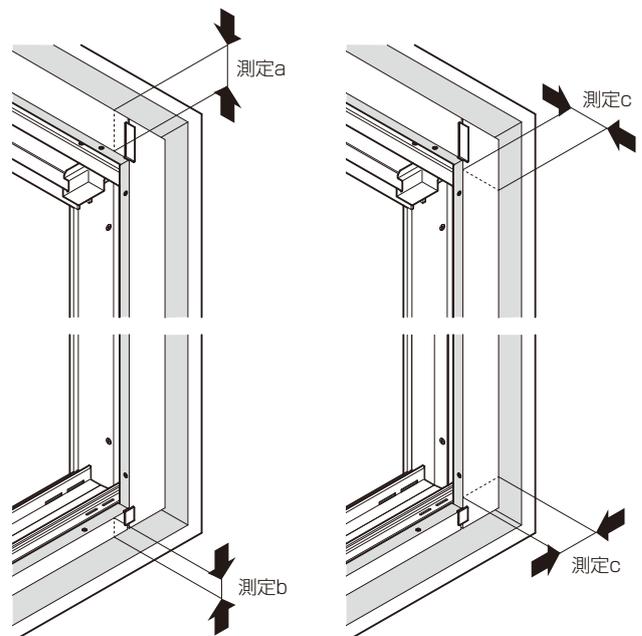


CHECK!



横見切材の取付け穴は引違い窓の縦枠側端部のみアングル穴と合います。FIX-FIX連窓の場合は左右均等になります。(アングル穴には合いません)

※ 下図のように測定は端部で実施してください。

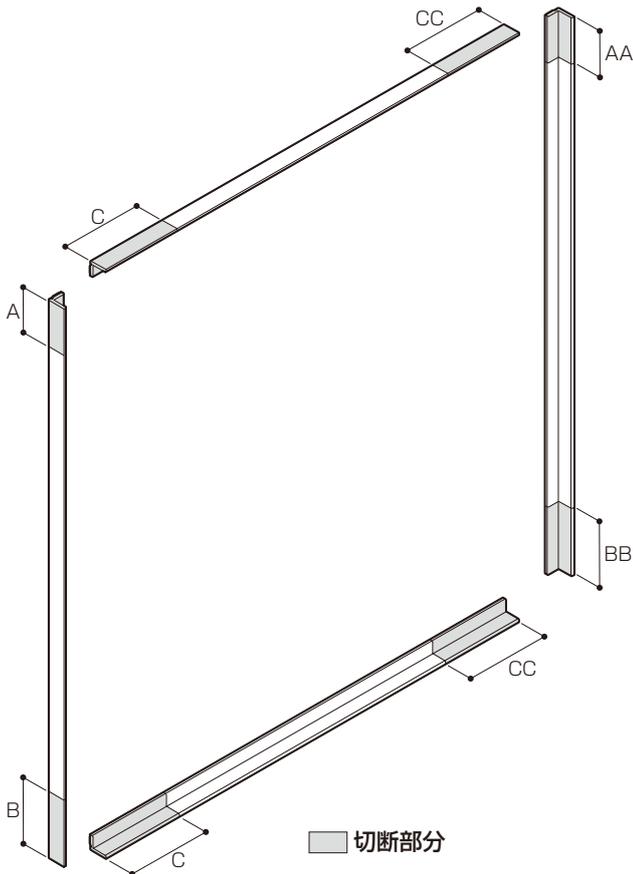


18 連窓用見切材の加工

見切材を決定したA～CCに合わせて切断してください。

お願い

- 切断小口は鋭利な部分が残らないようにヤスリなどで仕上げてください。
- 見切材は上下寸法、左右寸法をそれぞれ端部から切断機などで切断してください。合計の切断寸法で片側から切断すると、新設サッシ枠のアングルねじと見切材固定ねじの位置にズレが発生します。



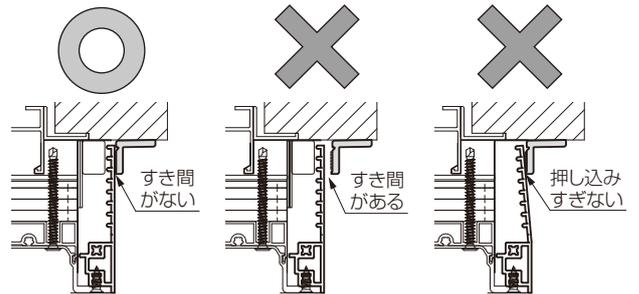
※図は内観左に引違い窓、内観右にFIX窓の場合になります。

19 連窓用見切材の取付け

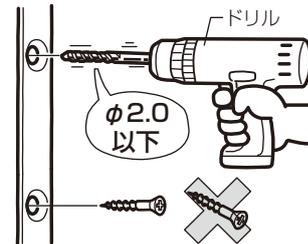
- ①見切材のリケイ紙をはがして、窓枠に当ててスライドさせながらアングルカバーとすき間が出ないようにアングルカバーに押し付けて圧着してください。
※新設サッシ枠のアングルねじ穴と見切材の取付け穴位置に合わせて固定します。
- ②圧着したら、取付け穴に合わせて窓枠に下穴(φ1.5～2)をあけ、取付けねじで固定してください。

お願い

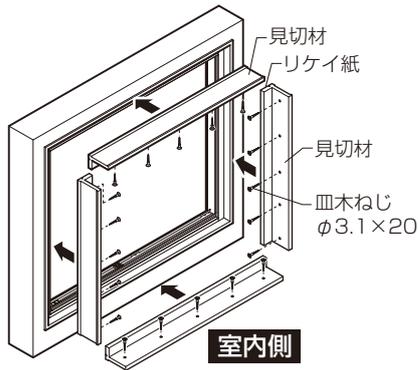
- 見切材はすき間なく取付けてください。その際、見切材を押し込んで、アングルカバーが曲がらないようにしてください。



- ねじはまっすぐにねじ込んでください。
- ねじの締めすぎに注意してください。

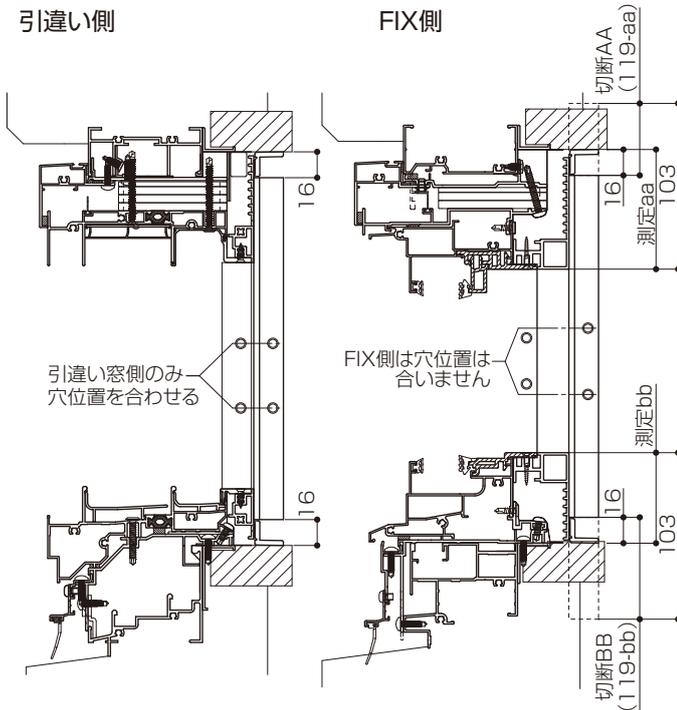


19 連窓用見切材の取付け(つづき)

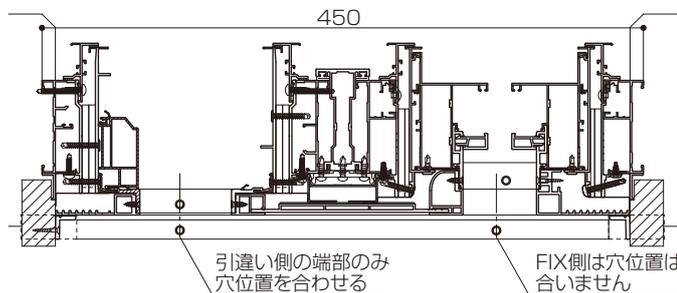


引違い側

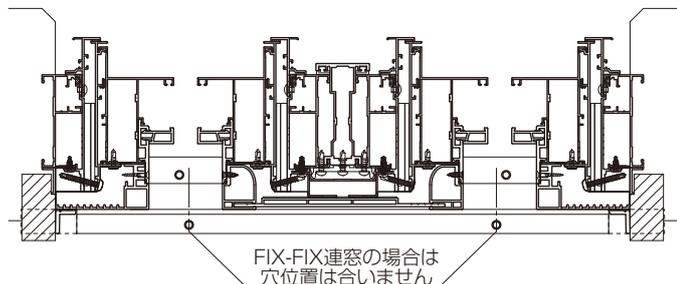
FIX側



引違い側

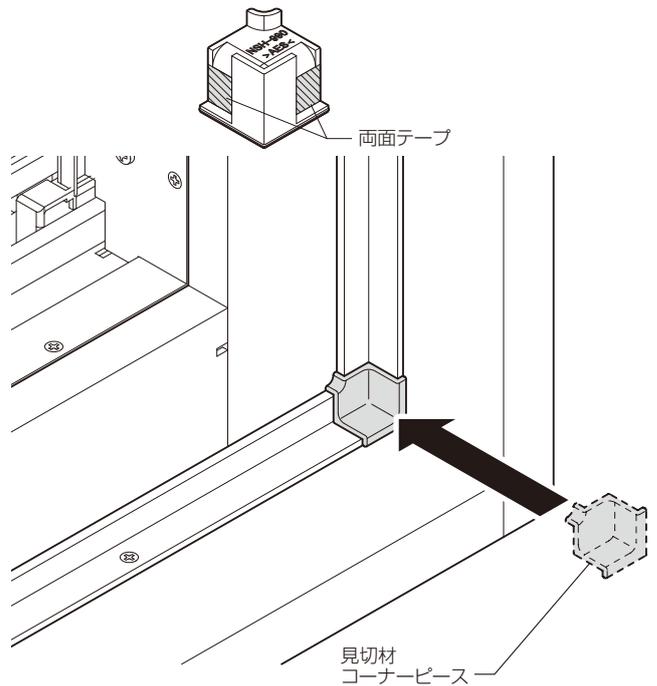


FIX側

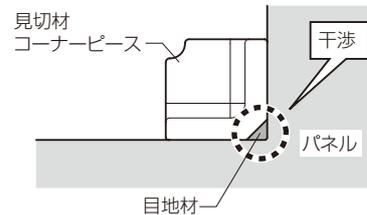


20 見切材コーナーピースの取付け

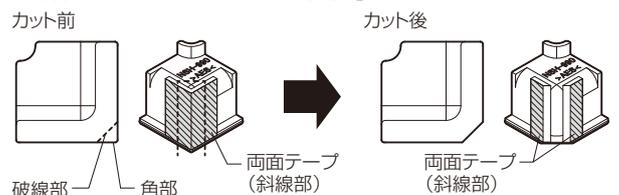
- ①見切材コーナーピース取付け部を必ず清掃し、汚れ(泥・砂)・ホコリ・油などを取ってください。
※取付け部に汚れ(泥・砂)・ホコリ・油などが付着していると、両面テープの接着力が低下し、外れの原因になるおそれがあります。
- ②裏面のリケイ紙をはがし、見切材コーナー部に合わせます。
※張直しをしないでください。接着力が低下し、外れの原因になるおそれがあります。
- ③窓枠に強く押付けて圧着してください。
※両面テープが付きにくい場合は、見切材コーナーピースの下図斜線部に両面テープ(現場手配/厚さ0.3mm以下)を張付けて、見切材に圧着してください。



※キッチンなどでパネルのコーナー部に目地材などがある場合は、見切材コーナーピースの角部(下図破線部)をカットして干渉しないようにしてください。



【見切材コーナーピースカット位置】



※カットする時に両面テープをはがさないように注意してください。

21 FIX側のアングルカバー端部キャップは、P.15を参照して、取付けてください。